

東京歯科大学 同窓会会報



2002年12月 331

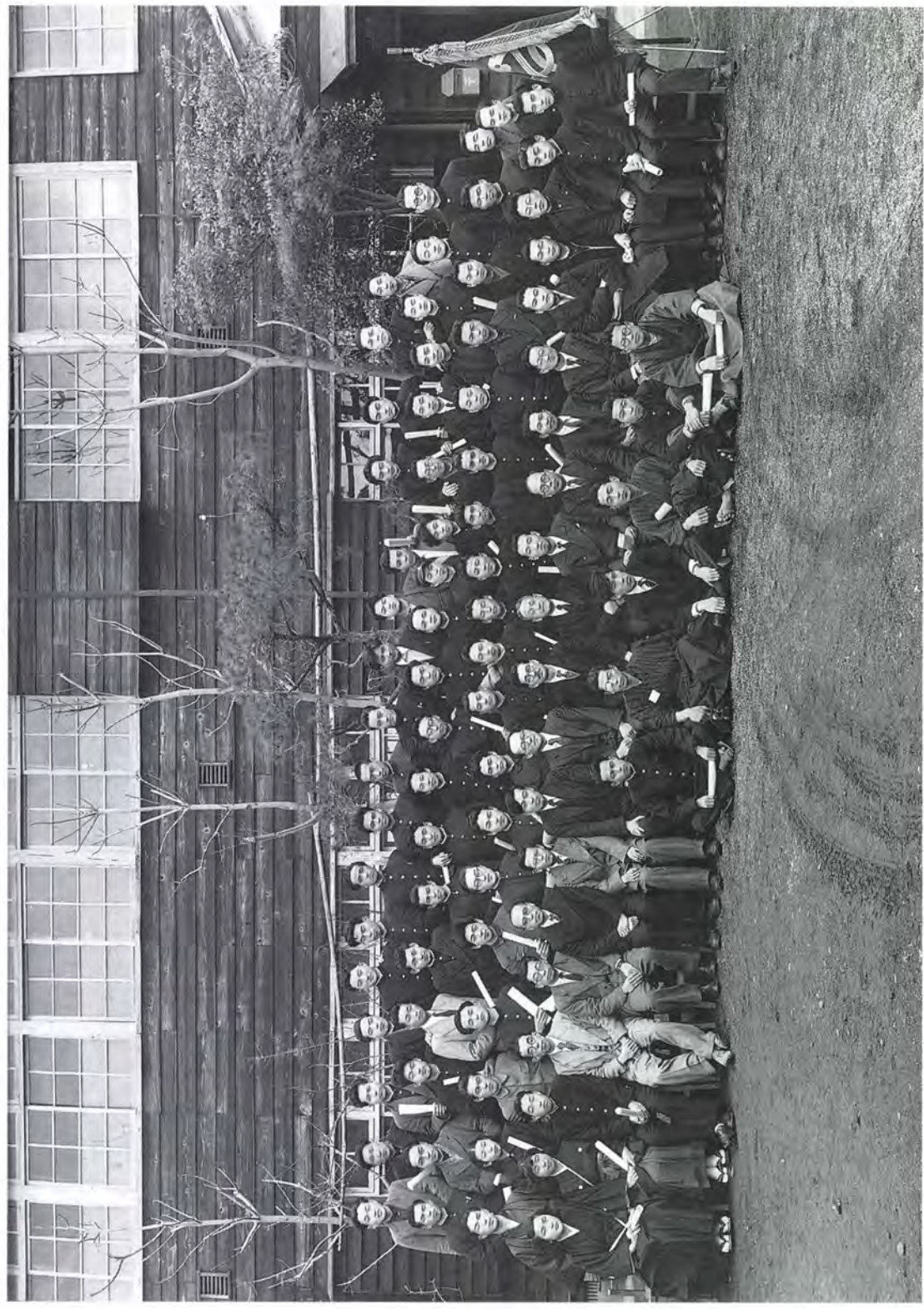
東京歯科大学同窓会会報 第331号

目 次

巻 頭 言	1
お知らせ	2
会 務	3～5
社会保険指導者研修会	6
VOICE	7
理事会のうごき	8～9
母校だより	10～11
支部のうごき	12～17
クラス会だより	18～28
OB会・グループ・サークルだより	29
庶務日誌	30
逝去会員・追悼	31～33
へんしゅうこうき	34
平成14年度評議員会・第108回定時総会報告	35～62

(表紙 野村 淳)

今は昔 卒業アルバム・私のアルバムから 二期会 (昭和29年卒)



昭和29年卒（二期会）の卒業写真はありませんので、予科3年卒業（昭和25年3月）のものがありません。各々に卒業証書を持っています。中央に奥村学長。エタニットパイプの青年学校の校舎を大学で買い上げて授業を行っていました。その前のものです。

前頁写真最前列左から2人目（金子）3人目は村瀬君でモーニングを借りて来たので、卒業証書

は尻の下、ユニークな連中が多かったと思います。

29年卒46回二期会、本年は箱根湯本河鹿荘にて開催されました。50年前と比較して見ると面影は残りますが？……。高添名誉教授（同級生）の特別講演、奥様方も一緒に聞き好評、まだまだ元気、お酒も！食欲も！

50回記念には特別イベントをと楽しみにしています。
（代表幹事 金子雅英）



巻 頭 言

灯心は少なく、油を多く

副会長 大 友 好



第4次天野執行部は発足より約1年経過しました。全国同窓会の諸先生方のご理解とご協力により、会務は事業計画通り、順調に執行されていることをご報告いたします。

平成13年の評議員会で、同窓会会則及び施行細則一部改正が可決確定し、①役員定数の削減、②専務理事制の導入、③学年代表評議員の削減、④会費の減額等が決定しました。会費収入も前年度と比較して約1,100万円減のスタートになりました。

天野会長の目標である同窓会の更なる発展と効率的な運営、財政基盤の安定のために第4次会則検討委員会を設置、鋭意ご検討をいただき、報告書が提出されました。

報告書は両論並記です。

第1案

○評議員の選任基準を定めている会則第19条の一に評議員の選出母体が支部単位となっているものを地域支部連合会単位に改める。この結果約50名の評議員が削減されます。

第2案

○平成14年1月1日施行の第19条一は改正せず、選出母体は従来通り各支部単位の推薦としておく。現状維持です。

○会則第19条の三（会長の指名する者若干名）の削除。

○施行細則第7条（評議員の選任基準）の削除。

この二項は第1案、第2案とも共通です。今回の評議員会で、協議題「東京歯科大学同窓会会則一部改正」として提出し、ご協議をいただきました。会員数約9,000名、支部数110、連合会11、それぞれ地区の事情、活動が異なっているため、今後執行部でも慎重に検討を重ねていく必要があると考えますが、支部長、会員諸先生方にも十分にご検討をお願いいたします。

同窓会は温かい人間関係と、冷たい経済原則が矛盾しながら同居しています。その主体は人間関係です。「明るさを持続させるには、灯心だけを長くしただけではだめで油を多くしなければならぬ」と例えられています。灯心は本部であり、油は支部です。同窓会の根本は支部です。来春、日歯、都道府県、各地区歯科医師会で会長はじめ役員、代議員の改選があります。各支部の一致団結と発展を祈念するとともに本部への更なるご理解、ご協力をお願いいたします。

“和を以って貴しとなす”

お知らせ

理事会より

- 同窓会本部年末年始のお休みは、平成14年12月29日（日）～平成15年1月5日（日）までです。

同窓会事業・行事

- TDC 卒後研修セミナー2003プログラム

臨床実技セミナー

- No.1 「MTMの実際」
2月22日（土）、23日（日）
- No.2 「実践総義歯」
4月6日（日）
- No.3 「フラップオペレーションの実技」
5月24日（土）、25日（日）
- No.4 「パーチカル根充を体得しよう」
6月28日（土）、29日（日）
- No.5 「ルートプレーニングの実際」
7月13日（日）

- 卒研セミナー 「治療方針立案のプロセス」

～セカンドオピニオンの視点～

- No.6 卒研プレセミナー（ベーシックセミナー）
11月8日（土）
※No.7 卒研セミナーの理解を深めるために
前日開催するセミナーです
- No.7 卒研セミナー
11月9日（日）

問い合わせ：同窓会学術部 03-5275-1761

地域支部連合・支部関係

- 支部長交替 平成14年10月15日付
四谷支部 橋本 正臣 氏（44卒）
前支部長 小倉 英世 氏（37卒）

母校関係行事・案内

- 平成15年度東京歯科大学入学試験
一般入試（Ⅰ期）平成15年2月1日（土）
一般入試（Ⅱ期）平成15年3月8日（土）
詳細は328号17頁～19頁に掲載
問い合わせ先

教務課 043-270-3733

ホームページ <http://www.tdc.ac.jp/admission/>

- 平成15年度東京歯科大学歯科衛生士専門学校入学試験

一般入学試験 平成15年2月3日（月）

問い合わせ先 事務室 ダイヤルイン 043-270-3993

ホームページ <http://www.tdc.ac.jp/tdhs/index.html>

- 平成15年度東京歯科大学学会

第275回 例会 平成15年6月7日（土）

演題締切 4月22日（火）正午

第276回 総会 平成15年10月18、19日（土、日）

9月2日（火）正午

「同窓会会報」の版型が大きくなります —平成15年2月号より—

A4版変形となります。日本歯科医師会雑誌と同じ大きさです。

全体的には、A4版ですが、今までのB5版より高さをやや長い程度にとどめ、本棚に収容しやすいサイズ（B5版の棚に収まる）としました。

同時に、文字のサイズも大きくし読み易くなります。内容量は今までとほぼ同じですが、レイアウトの変化がつけやすく、写真も大きく扱えます。

しばらくは試行錯誤を繰り返し、見づらい面もあると思います。ご意見お寄せください。

広報部委員会

平成14年度評議員会 第108回定時総会報告

— 次期日歯会長に臼田貞夫氏を推挙することを表明 —

平成14年度評議員会は、平成14年11月16日(土)午前10時00分から、赤坂プリンスホテルロイヤルホールにおいて開催された。

池田 漠専務理事の司会のもと、配布資料の確認並びに訂正が行われた後、梅田昭夫副会長の開会の辞で評議員会は始まり、点呼は受付の署名をもって替え、評議員総数158名中出席114名(10時現在)で会議は成立した。

次いで天野 恵会長の挨拶があり、井上 裕理事長、石川達也学長を始めとする大学幹部および、全国評議員の先生方の出席を心からの感謝をし、また平成7年度評議員会で指名されてより4期半ばとなり皆様方のご協力、ご支援を感謝する旨発言があった。さらに、平成15年度には日歯役員並びに多くの都道府県の会長選があり、10月19日の全国理事会において臼田執行部を評価し、次期会長選に再び臼田氏を押すことを決定、11月15日の全国理事会において、選挙対策本部を立ち上げ、今朝9時より日歯代議員と協議し、東歯として機関決定したこと、そして現在6名が県歯の会長選に出る予定であるのでこれも積極的に関与していくつもりであること。また財政の基盤を確立するために協議題を出してあるので評議員の皆様方の意見を聞きたいと挨拶された。

次いで、来賓の挨拶があり、井上理事長は信じていた秘書の不祥事により参議院議長並びに議員を辞職したこと、後援会が30年間にわたりご支援くださったことに深く感謝し、さらに深くお詫びし、現在の状況について述べられた。また、今年5月に4回目の理事長に選出され、これからも同窓会、大学幹部と協力して大学を盛り立てていきたいと挨拶された。

続いて、石川学長より、今までやってきたことはプラスであるが、まだ本格的なものができてい



ないので慎重に学内を統一していきたい。さらに教育、研究、臨床を充実したものにしたい。そして現在、全国に600位大学があるが、東歯は20番目位特徴があるといわれているが、これは110年間の先輩方の努力等がある、全国の基盤を持続し続けることと、同窓の結集力がそれだけ強靱であることをあらためて認識したと挨拶された。続いて渡辺公武総務担当常任理事より来賓の方々の紹介があった。

議長・副議長の選出

司会者一任となり、議長に136番川越文雄評議員、副議長に70番上野真人評議員を選出した。議事録署名人は議長の指名によって61番亀谷博昭評議員、80番山田英夫評議員が選出された。

報告

報告に先立ち、9名の代理出席者の承認が諮られ、120名の物故会員に対して全員黙祷を捧げた。次いで池田専務から平成14年度会計報告、矢崎秀昭会計担当常任理事から会計現況報告が報告され、承認された。

議事

第1号から第4号議案までの平成13年度の決算関係の議案が一括上程され、矢崎理事並びに安藤



三男総務担当常任理事から議案の説明があり、高原映忠常任監事が監査の結果を報告した。質疑の後、第1号より第4号までの議案が原案通り可決承認された。11時30分より12時30分まで昼食のため休憩となった。

12時30分再開後、第5号から第7号議案まで一括上程され、池田専務、矢崎理事より議案の説明があり活発な質議がなされた結果、第5号より第7号まで原案通り可決承認された。続いて第8号議案として池田専務より総合政策費積立金会計について提案理由が説明され、活発な質議の後、原案通り可決承認された。続いて第9号より第12号議案が一括上程され、質疑の上、第9号より第12号議案まで原案通り可決承認された。引き続き名誉会員推薦の第13号議案が上程され、片桐重雄名誉教授が満場一致で可決承認された。

協 議

池田専務より、東京歯科大学同窓会会則一部改正についての主旨説明があり、中間報告書であるが評議員の皆様方のご意見を是非お聞きしたい旨の発言があり、これを受けて活発な意見が続出した。13時52分にすべての議事が終了し、議長・副議長は降壇、30分間の休憩となった。

14時22分に再会し渡辺理事の紹介により天野会長より名誉会員に推薦状が伝達された。

引き続き、叙勲・褒章受章者の顕彰式に移った。渡辺理事より17名の受章者の紹介があり、本日出席者は勲五等双光旭日章を受章した田代教平氏、大橋 昭氏、三宅淳一氏並びに ISO 永年功労賞の梅田昭夫氏で天野会長から記念品が伝達さ



れた。代表して田代教平氏が謝辞を述べられた。14時24分、金子雅英副会長の閉会の辞で本年度の評議員会は終了した。

第108回同窓会定時総会

評議員会に続き、15時10分より定時総会が池田専務の司会、鈴木 裕副会長の開会の辞で始まり、会長挨拶の後、議長に上野真人会員、副議長に川越文雄会員を選出、また議事録署名人に山田英夫、野村 淳会員が指名され総会が進められた。まず、池田専務、矢崎理事からそれぞれ報告があり、先の評議員会の可決事項も報告され承認された。議事に入り、平成13年度決算関係並びに財産目録の4議案と大橋和夫監事の監査報告があり、審議の結果可決承認された。大友 好副会長の閉会の辞で15時29分総会を終了した。



東京歯科大学同窓会井上 裕後援会総会開く

— 第2号議案 後援会解散 を可決 —

11月16日（土）赤坂プリンスホテルに於いて、午後4時より総会が開催された。寺尾伸治常任幹事司会のもと、梅田昭夫副会長開会の辞に続き、大山萬夫後援会長・天野名誉会長・石川学長・井上理事長よりご挨拶をいただいた。

（大山会長挨拶要旨）このたびの問題で早々に会員の皆様に、ご挨拶ご報告を申し上げるところでしたが、諸事情がありまして遅れましたことをお詫び申し上げます。井上先生が参議院議長の時にあのようなことがあり、大変残念に思っております。本日、後援会の解散と残余金の処理についてご協議いただきたい。井上先生からの解散の申し入れを受け、先生のお気持ちを汲み、肅々と議事が進むことをお願いし、また、長年にわたる会員の皆様の後援会に対するご支援と拠出金のご協力、心よりお礼申し上げます。

（井上 裕先生ご挨拶要旨）昭和47年県議会議員に当選時、井上 眞同窓会長により後援会を作っていた以来、30年間ご支援ご協力を賜りました。身は潔白とはいえ、秘書一人の監督が出来ず、最後にあのような状態で議長を辞することになり、大変申し訳なく、長年にわたり物心両面から支えていただいた皆様に深くお詫び申し上げます。今後は大学のために尽くすことが皆様のご恩に対するお礼と思っております。心からお詫

びしていたことを会員の方々にお伝えください。

次いで大山会長が議長に選出され、報告・議事に移った。大友 好幹事長より6月25日常任幹事会が、会則第12条第4項に則り、総会に移行、平成14年度の拠出金は徴集せず、すでに納められた支部に関しては7月15日付けで返還する決議がなされたとの報告があった。

木下正道常任幹事より会計現況報告の後、議事に入った。

第1号議案・平成13年度会計収支決算可決

第2号議案・後援会解散について

大友幹事長より趣旨説明、10月13日井上先生より解散の申し入れのあったことを報告、議事に入る。解散賛成多数、解散の時期は選挙管理委員会提出等の諸手続きがあるため、役員会に委ねることを了承。

第3号議案・後援会拠出金残金について

全会員に報告とお礼の文書配布にかかる通信費・解散手続き会議費・本日の総会終了後の懇親会を同窓会と共同で行う開催費等に充当、残金を0として届け出ること可決。

以上をもって議了。30年間、後援会に対する温かい皆様の支援に感謝するという、金子雅英副会長の言葉で閉会した。



社会保険指導者研修会出席者情報交換会の開催

全国の社会保険指導者が一堂に会する平成14年度社会保険指導者研修会が、9月4日(水)午前10時から千代田区の一ツ橋ホールにおいて開催された。この研修会には、各都道府県で保険関係の指導的立場にある先生方が参加している。

研修会終了後、同窓会としては初めての試みとして、研修会に出席された全国の同窓の先生方との情報交換会が午後5時より如水会館「松風の間」にて、出席者87名を迎え開催された。

黒須 誠渉外担当理事の司会の下、鈴木 裕同窓会副会長の開会の辞に始まり、天野 恵同窓会会長のこのような会を設けたことの意義、今後同窓会として保険関係にも力を入れていく方針であるとの挨拶、続いてご来賓として梅田昭夫日本歯科医師会専務理事の「かかりつけ歯科医初診料」、「歯周病のメンテナンス」の活用を促進していこうとの挨拶、平井泰行日本歯科医師会常務理事の今回の改定、そして中医協をはじめ歯科界を取り巻く厳しい現況についてのお話を交えた挨拶があり、貝塚雅信東京都歯科医師会会長はじめご来賓の方々の紹介が行われた。

次いで、坂井 剛渉外主任担当理事座長の下、情報交換に入り、竹内(長野)、村上、伊東(神奈川)、早速(東京)、高木、山本(静岡)、穴戸(福島)、田島(宮城)の各先生方から、今回の改定で新設された「歯周病のメンテナンス」、算定要件緩和となった「か初診」、社会的な問題となっている「歯科訪問診療」さらに「投薬」等についての質問があり、活発な討議がなされた。また支部よりの要望、意見、情報について同窓ならではの忌憚のない意見も披露され、有意義な情報交換の1時間が瞬く間に経過した。発言も尽きない中、増田進致渉外担当理事の閉会で情報交換会を終了した。

続いて、隣接する「富士の間」において、佐藤 剛渉外部保険対策委員の司会進行の下、池田 漢同窓会専務理事の開会により懇親会が開催された。和やかな雰囲気の中、各々旧交を温めたり、地区の事情、現況など話し合ったり、様々な交流がなされ、名残を惜しみつつ小貫 克渉外部保険対策委員会委員長の閉会の辞により会は終了した。
(保険対策委員 佐々木真澄 記)



V O I C E

思いつくまま

信越地域選出理事 小池 平一郎

この夏の格別の猛暑はいかがでしたでしょうか。避暑地軽井沢のある信州でも、冷房が欲しくなる日が何日も続きました。9月になり、24日の朝に例年より20日も早い初霜に遭い、この季節の変わり具合に身体の方がついて行けない有様でした。

この会報が皆様のお手元に届く頃には浅間山はすっかり雪化粧していることと思います。

この夏は猛暑と共に長野県は田中康夫知事と県議会のねじれ現象とでも言うのでしょうか、知事の不信任案可決と、知事選挙で全国版報道を賑わしました。12億円の選挙費を使った結果、田中知事の再選ということになりましたが、議会と知事の間のねじれはそう簡単に修復できるものとも思われず、県政改革も“しなやか”に進んで行ってくれるのかと危惧を抱かずにはおられません。

同窓会信越支部は信・越各々170名程の会員で隔年ごとに当番県となり連合会総会を開催しています。今年は新潟の担当で6月22日妙高高原の赤倉観光ホテルで開催されました。新潟県には歯学部2校、また長野県には歯科大学があり、各々の卒業生が地元で開業する数が次第に増え、長野県に於いても県歯会員中、東歯同窓生158名に対し地元歯科大卒181名となってきました。今後需給問題や研修医制度等と共にどのように変化していくか気掛かりです。

現在長野県には、東北中南の4支部があり、会則検討委員会でも評議員数等検討されておりますが、確かに長野県は広く、各々他地区へ行くのに峠を越えて行くのが困難な時代だった頃はともかく、そろそろ見直す時期に来ているように思います。

私も父兄会の協力委員を承っている関係上、学生名簿をみますと、長野県出身の学生が21名おり

ます。かつて大学には県人会があり、私が学生の頃は解剖の上條先生が会長で、保存の服部先生が副会長でした。その後、補綴の腰原先生が会長を継がれ、私が副会長を務めておりました。年に2、3回は県人会があり、先輩、後輩あるいは大学の各講座におられた先生方といろいろな話をし、時には口角沫を飛ばす議論になったりしたものでした。この会の最後には皆で長野県歌とも言える「信濃の国」を歌うのが恒例でした。私も地元に戻って開業し、この時代の繋がりが大変大切なものに思えますし、先輩、後輩の方々との日頃のおつき合いの原点になっているような気がします。息子に聞いたところ、最近では県人も途絶えがちとのこと、将来の同窓会の活力にもかかって来る気がし、燃え上がってくれることを期待しています。

長野県は平均寿命の長さや健康寿命の長さにおいて全国でも1、2を争う長寿県であり、高齢化率（地域によっては40%を超える村さえある）も極めて高い県です。しかし一人当りの老人医療費は全国一低いというのが地域医療の特徴とされています。その県の国保連合会に提出される全レセプト100万枚のうち10万点以上のものが月におよそ1,200～1,300百枚程ですが、これらの総点数は県下1,000余の歯科医療機関から提出される9万枚のレセプトの総点数の1.5～2倍であるというのが現状です。

医療改革として進められている現在の政策の中で、歯科医療を担当している我々は何を目標として、どのような行動をとっていくのか、決断を下さなければならない時に来ていることは確かです。

東京歯科大学そして東京歯科大学同窓会が、そうした歯科界の中心に存在し、推進力を発揮することを祈念しております。

理事会のうごき

会則検討委報告書を受理 評議員削減案・現行案の両論併記

天野 恵会長は会則検討委員会報告書を櫻井善忠委員長より受け取った。これによると評議員の定数について現行の支部単位を地域支部連合会単位に変更して選出することより50名削減する案と現行案の両論が併記され、評議員会の協議題で協議されることになった。

第4回理事会

平成14年9月21日（土）午後4時30分

於 熱海ホテルニューアカオ

出席 囑託1名を含め32名

議長 大友副会長

会長挨拶

本会運営のため誠心誠意努力している役員各位に感謝の言葉を述べた。

黙 祷

沖縄県支部・高嶺長二氏他16名のご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表した。「起立黙祷」

会務報告

- (1) 平成14年7月18日から12月18日までの日程について報告。
- (2) 本学教授と同窓会役員との懇談会を11月2日に開催することを報告。
- (3) 10月理事会に会則検討委員会報告書を提出の予定であることを報告。
- (4) 9月13日に同窓会役員、父兄会役員および大学関係者で、歯科臨床研修医に関する打ち合わせを行ったことを報告。
- (5) 本会ホームページの更新は、学術部 TDC 卒後研修セミナー2003年のプログラム入れ替えをもって完了することを報告。
- (6) 事務用ノートパソコン4台と、インターネット接続用ノートパソコン1台を購入したことを報告。

- (7) 同窓会事務室空調機は、今年度点検整備の必要があることを報告。
- (8) 保険対策マニュアルを10月20日頃発行の予定で進めていることを報告。
- (9) 9月4日開催の社会保険指導者研修会終了後、情報交換会を行ったことを報告。
- (10) 学術講演会講師派遣交通費の支出について8件報告。
- (11) TDC 卒後研修セミナー2003プログラムの内容について報告。
- (12) 8月31日開催の学術部全体委員会で本学協力委員を交え歯科臨床研修医制度について意見交換したことを報告。
- (13) 9月6日学術部委員会で来年2月奥羽大学歯学部主管「第13回全国歯科大学同窓・校友会学術担当者連絡会」支援態勢についての検討を報告。
- (14) 会報10月号に「女性会員の皆様に」と題するアンケートが同封されることを報告。
- (15) 平成14年度逝去会員は9月17日現在で累計78名、規定により弔慰共済金を贈呈したことを報告。
- (16) 9月5日に第31回同窓会主催全国ゴルフ大会を開催し、171名が参加したことを報告。
- (17) 9月18日に共済検討委員会を開催、平成18年度実施の臨床研修医制度に向け、新入会員対象の保険制度を設ける方向で検討、報告。

協議事項

- (1) 同窓会費および共済負担金納入延期願いに

ついて4件承認。

- (2) 推薦会員入会願いについて1件承認。
- (3) 平成15年度事業計画(案)を説明し協議の結果承認。
- (4) 東京歯科大学同窓会総合政策費積立金会計内規(案)を説明し協議の結果承認。
- (5) 平成15年度東京歯科大学同窓会収支予算(案)を説明し協議の結果承認。
- (6) 平成14年度東京歯科大学同窓会評議員会・

第5回理事会

平成14年10月19日(土)午後2時30分

於 特別会議室

出席 26名

議長 清藤副会長

会長挨拶

会則検討委員会から会則一部改正についての答申書が提出されたので、評議員会に協議題として提出するので十分に協議されたいことを要望。

黙 祷

南信支部・牛木 実氏他10名のご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表した。「起立黙祷」

会務報告

- (1) 平成14年9月24日から12月20日までの日程について報告。
- (2) 1名支部長が交替、就任したことを報告。
- (3) 旧支部長あて感謝状ならびに記念品を贈呈したことを報告。
- (4) 新規購入したコンピューターのセットアップとネットワークの構築をしたことを報告。
- (5) 都道府県歯会長選挙の動向について報告。
- (6) 保険診療の手引きを作成、10月号会報に同封し会員へ配布する予定であることを報告。
- (7) 学術講演会助成金支出について1件報告。
- (8) 学術講演会講師派遣交通費の支出について5件報告。
- (9) 本学開催の「カリキュラムワークショップ」に、学術部委員の参加要請があり、8名

定時総会、後援会総会、懇親会日程(案)について説明し協議の結果承認。

- (7) 団体所得補償保険について説明し協議の結果承認。
- (8) 本会加入の保険は所得補償保険のみであるが、11月から癌保険、医療保険、自動車保険を加えた総合保険として契約をしたいことを説明、協議の結果継続審議することです承。

参加の予定であることを報告。

- (10) 社会状況にあわせ、会報B5版をA4版に変更の検討をしていることを報告。
- (11) 平成14年度逝去会員は10月16日現在で累計89名、規定により弔慰共済金を贈呈したことを報告。
- (12) 共済検討委員会で新卒者に対する共済制度の充実をどのような方法で具体化するかをテーマとして検討することを報告。

協議事項

- (1) 会則検討委員会「報告書」(案)について説明し、協議の結果、評議員会に協議題として提出することを了承。再度検討を重ねていく。
- (2) 平成13年度評議員会・総会議事録について説明、協議の結果了承。
- (3) 平成14年度評議員会、総会次第(案)について説明、協議の結果了承。
- (4) 平成15年度評議員会開催場所は経費削減のため、如水会館で開催したいことを説明、協議の結果了承。
- (5) 現在、本会では東京海上火災保険㈱の「団体所得補償保険」に加入しているが、「癌保険、医療保険、自動車保険」は㈱損害保険ジャパンと東京海上火災保険㈱の2社に募集させたいことを説明、協議の結果了承。
- (6) 平成15年3月に行われる日本歯科医師会会長選挙について、会長から選挙に対する歯科界の現在の動向と、本会の意向や方針について説明、協議の結果、会長の方針のもとに一致団結して選挙にあたることを了承。

母 校 だ よ り

第2回 総合歯科セミナー報告

去る平成14年10月26日（土）、第2回総合歯科セミナーが水道橋校舎血脇記念ホールにて開催されました。今回は昭和46年卒の押見 一先生を講師にお迎えし「患者を真中におく歯科臨床—ブラキシズムとの悪戦苦闘—」と題する講演をしていただきました。

前半は歯科医療を行っていくスタンスとして、患者を中心にしてコーディネタル・スタッフが同心円上にいる形態をとることの重要性が示されました。そして後半は臨床において極めて重要である

ブラキシズムがテーマでした。まず圧を加える側の問題として、患者の日常生活に内在するストレスとの関係性とそのコントロールについて、さらにブラキシズムの圧を受ける側の問題、つまり咬合の考え方についてご教示いただきました。さらにブラキシズムに起因すると考えられる咬合崩壊に対して、歯牙移植を併用して咬合再構成を行う興味深い症例を多数ご教示くださいました。

第3回セミナーは来年3月23日（日）開催を予定しております。
（青木 聡 記）

●博士（歯学）学位記授与

第497回（平13.6.13）合格 第508回（平14.6.12）授与
北 野 良 英（解剖Ⅰ）（第1493号・甲833号）
小 川 貴 也（保存Ⅱ）（第1495号・甲835号）
第502回（平13.12.12）合格 第508回（平14.6.12）授与
猪 狩 弓 彦（補綴Ⅲ）（第1508号・甲845号）
塚 田 威（補綴Ⅲ）（第1509号・乙664号）
第477回（平11.9.8）合格 第509回（平14.7.10）授与
赤 澤 勇 人（補綴Ⅰ）（第1422号・甲789号）
第504回（平14.2.20）合格 第509回（平14.7.10）授与
須 藤 健太郎（解剖Ⅰ）（第1516号・甲849号）

●人 事

退 職 講 師	辰 野 聡	（市病放射線科）	14. 6. 30
助 手	黒 島 正 子	（市病産婦人科）	14. 6. 15
〃	中 田 真 理	（歯科麻酔）	14. 6. 30
〃	小 野 宏 之	（市病整形外科）	〃
採 用 助 手	金 澤 英 明	（市病内科）	14. 6. 1
〃	桑 原 佳 子	（市病産婦人科）	〃
〃	小 野 宏 之	（市病整形外科）	〃
講 師	豊 田 圭 子	（市病放射線科）	14. 7. 1
助 手	三 笠 貴 彦	（市病整形外科）	〃
〃	田 中 宏 明	（市病産婦人科）	〃
講 師	和 田 雅 樹	（市病小児科）	14. 8. 1
昇 任 助 教 授 兼 教 授 へ	青 柳 裕	（市病放射線科）	14. 7. 1

大学広報198号（平成14年8月31日発行）より抜粋掲載

第3回 総合歯科セミナーのお知らせ

水道橋病院長総合歯科 横石武美

下記の要領でセミナーを行います。受講ご希望の方はメールまたはFAXにてお知らせください。

演 題 「機能と審美的調和した歯科治療」

演 者 内藤正裕先生

東京都開業 くれなる塾主宰

日 時 平成15年3月23日（日）午前10時から午後4時まで

場 所 東京歯科大学水道橋校舎 血脇記念ホール

受講費 3,000円（当日徴収させていただきます）

参加のお申し込み、お問い合わせは下記までお願いいたします。

（担当：青木 聡 aoki@tdc.ac.jp またはFAX 03-5275-1787）

水道橋病院の今

歯科麻酔科・口腔顔面痛み
センターにおける漢方治療

歯科麻酔科
笠原正貴



水道橋病院歯科麻酔科では、ここ数年で症例数が著しく増加しています。平成13年度は、全身麻酔症例が411例でした。歯科麻酔科外来症例は、診査などを含めた全症例が7,561例であり、静脈内鎮静法1,250例（本学千葉病院歯科麻酔科外来とほぼ同数、ということとは日本一）、ペインクリニック5,418例（歯学部のみで先駆者的存在の九州歯科大学歯科麻酔科口腔神経科と同症例数、つまり日本一、他の医学部ペインクリニック科と比較してもひけをとらない数字です。）などでありました。平成14年度の4～7月における4ヵ月間の全身麻酔症例は145例、外来総症例数は2,971例であり、本年度はさらに例数が増加する見込みです。

水道橋病院はさすが都心に存在するだけあって、全国から患者さんが来られます。我が口腔顔面痛みセンターも例外ではなく、しかも本当に、ほんとうに手強い患者さんばかりです。当科では、これらの慢性難治性疼痛症例に対応すべく、あらゆる治療法を用意しています。漢方治療もその治療法の1つで、当科では約半数の患者さんに漢方薬を応用しています。

漢方薬を運用する上で必要な学問が中医学です。現在日本では、中医学や日本漢方を学び、臨床に生かしている医師が増えています。慢性病が蔓延している現代社会においては、体質治療のできる漢方薬は有利な面が多々あると思われます。実際に、医学部でも漢方医学講座ができるなど、臨床ならびに教育・研究の場でも漢方医学が浸透してきています。

漢方薬は複数の効果をもつ生薬が、複数配合され構成されています。また中医学には、整体観念すなわち生体恒常性の異常を修復するという基本姿勢があります。したがって、複数の要因によって生じたり、責任病巣が明らかでない慢性疼痛に対して漢方薬は有効です。具体的に当科では、舌痛症、口腔異常感症、非定型顔面痛などの原因がはっきりしない難治性疼痛性疾患に使用されており、成果をあげています。また他の症例でも、西洋医学的手法と併用して副作用のない鎮痛補助薬としても用いています。

西洋医学の先進的で優れた検査技術や診断技術と、中医学の整体観念に基づく手法を結合させ、個々の症例の適応を見極めて疼痛治療を実践していくことが、質の高い医療を提供出来ると考えております。古くて新しい治療法、それが漢方治療です。

お問い合わせ先：

福田または笠原まで

電話 03-5275-1851

FAX 03-5275-1750

（診療情報提供書の必要な先生は
FAXでご請求ください）

支部のうごき

掲示板

*この掲示板は、同窓会ホームページ <http://www.tdc-alumni.jp> にも掲載されています。
日程等、決まり次第、できるだけ早めにお知らせください。
印刷、発行日の都合上、会報に載せられない場合がありますが、その場合は同窓会ホームページに掲載されますので、ご了承ください。

事業種 日 時	演題及び講師 又は事業内容	会 場	主 連 絡 催 先	外部より 参加可否
学術講演会 15年1月19日(日) 午前11時	「歯科医療を取り巻く環境の変化 について」 梅村長生先生 愛知三の丸病院歯科 口腔外科部長	ホテルグランヴィア広島 広島市松原町1-5 TEL 082-262-4050	広島県支部 支部長 野村 浩 TEL 082-262-6865	外部より 参加 可
学術講演会 15年2月8日(土) 午後5時	「リスクファクターを考えた歯周 治療」 中川種昭先生 慶應義塾大学 歯科口腔外科学教室教授	宮城県歯科医師会館 仙台市青葉区国分町1-5 -1 TEL 022-222-5960	宮城県支部 専務理事 小野 喬 TEL 022-299-8055	歯 科 関係者 同窓会員 以外でも 可
学術講演会 15年5月24日(土) 午後3時30分 ～5時20分	「最新の白内障手術とエキシマ レーザー屈折矯正手術」 ピッセン宮島弘子先生 水道橋病院眼科	奥飯坂温泉 摺上亭「大鳥」 福島市飯坂町 字中ノ内24-3 TEL 024-542-4184	福島県支部 支部長 小森谷 豊 TEL 024-575-2221 FAX 024-575-2222	同窓会 会 員

平成15年度（第27回）全国同窓囲碁大会のお知らせ

日 時 平成15年4月13日（日）

会 場 市ヶ谷日本棋院会館

懇親会 加藤正夫本因坊就位のお祝いを兼ねて行います。

詳細は2月にまたお知らせいたします。日時をご予定ください。

関東地域支部連合会

平成14年度総会

総会が、9月7日(土)に群馬県の当番で「高崎ビューホテル」で開催されました。来賓として天野同窓会長、下野学監、高原同窓会常任監事、久保木同窓会理事、梅田日歯専務理事、川越群馬県歯科医師会会長にご出席いただきました。総会に先立ち支部長懇談会で活発な意見交換がなされ、総会開催に至りました。

総会は加藤浩三先生の司会により、まず物故会員に黙祷を捧げ、富澤連合会会長より歓迎のご挨拶がありました。

来賓挨拶で天野会長は同窓会の財政基盤の安定や会則改正の検討等の取り組みを述べられ、更なる同窓の協力と団結を要請されました。下野学監より大学の近況について、特に教育や研究の充実、入試等のご報告やご挨拶があり、高原常任監事の同窓会機構改革、役員選挙に関する同窓会の支援、社会保険に関する小冊子の発行等の報告がありました。引き続き諸報告を経て議事に移り、無事3議案が可決承認されました。

協議事項につきましては同窓会への未入会や退会問題、総会開催の固定化やスリム化の問題等の諸事項について活発に協議がなされ、また情報交換も行われた後、最後に次期当番県の増田埼玉県同窓会会長より、次年度は大宮で総会を開催する旨挨拶があり総会を終了いたしました。

総会後の講演会は梅田日歯専務理事を講師に



「時局対応および質疑応答」と題して、医療保険制度抜本改革への対応と会務の現況について、豊富な試料をもとに大変熱のこもったご講演をいただきました。特に医療費改定については、行政に対して強い態度で臨むという講師の決意があり、大変心強さが感じられました。

引き続き雰囲気をはがりと変えて、立川談慶師匠による落語で全員リラックスしながら、生の迫力を大いに堪能しました。

懇親会は富澤会長の総会の無事終了を謝し、久保木同窓会理事の挨拶、増田埼玉県同窓会会長の乾杯の音頭で始まり、卒業年度別に囲んだテーブルで、久しぶりに同窓会特有の和気藹々の雰囲気の中で旧交を温め合いました。立川師匠にはこの宴席でも場を大いに盛り上げていただき、盛会のうちに校歌斉唱後、終宴となりました。

同窓会の先生方には遠路、高崎の地にご足労いただきありがとうございます。

(備前島俊行 記)



東京地域支部連合会

第32回総会

総会が、11月2日(土)午後2時よりTDCビル血脇記念ホールにて開催された。

上野真人専務理事司会のもと、武石醇作副会長の開会の辞があり続いて、大友 好会長からは「①連合会事業に対するお礼、②社・国保審査委員推薦のお礼、③来年改選予定のある都歯・地区歯科医師会に対しての協力要請、④本部同窓会の会則検討項目である評議員の削減と支部の統廃合問題について、⑤井上 裕後援会の今後の運営」等についての会長挨拶があった。

引き続いてご来賓の挨拶、下野正基学監(石川学長代理)より学校内の現状報告で、「教員各自が自己評価を行い、大学基準協会における第3者評価を得て大学の質の向上と、学生教育の内容の充実に向けて進んでいる」と話され、続いて天野恵同窓会長からは本部同窓会の最大支持母体である東京地域支部連合会に対するお礼と、全国各地における歯科医師会の役員改選には、協力を惜しまないとの挨拶、次に富山雅史都歯理事(貝塚都歯会長代理)は、本日は会長が「関プロ」に出席の為のお詫びと、従前からの会員・非会員の峻別を、より明確にするために新しい会員証を交付し

た旨の説明。佐藤春海指導医療官からは、これからの医療改革は方向性が未だ見えてこないもので、対応も非常に難しいとの、それぞれのご挨拶があった。

次に議長の選出となり、議長に安藤三男(練馬支部)会員が、副議長には福田壽一(麻布赤坂支部)会員が選出され、議事録署名人には甲田保彦(江戸川)会員と日向邦彦(練馬)会員が指名された。

議事日程に従い、会務報告が上野専務理事、会計現況報告を小林会計理事が行い承認された。続いて議事となり、第1号議案：平成13年度一般会計収支決算、第2号議案：平成13年度名簿積立金特別会計収支決算、第3号議案：平成15年度事業計画、第4号議案：平成15年度一般会計収支予算、第5号議案：平成15年度会費の額、第6号議案：平成15年度名簿積立金特別会計収支予算も、賛成多数で原案通り可決された。

最後に鹿島隆雄副会長の閉会の辞により、午後3時30分に総会を終了した。

その後、場所を水道橋グリーンホテルに変えて、懇親会を開いた。

(丹野 茂 記)



東海地域支部連合会

平成14年度総会

9月8日午後2時より、岐阜市ルネッサンスホテルにおいて、東海地域同窓会が岐阜県支部の当番で開催された。三重県8名、静岡県16名、愛知県21名、岐阜県24名の合計72名の会員ほか、来賓として、石川達也学長、天野 恵同窓会長、梅村長生・坂井 剛常任理事、寺本康郎理事をお招きして、一堂に会した総会は、定刻、酒向利純幹事の司会、鶴飼兵衛副支部長の開会の辞で始まり、古田一男連合会会長の挨拶、石川学長より大学現況、天野同窓会長・梅村常任理事より同窓会本部報告、当番支部より地域支部連合会庶務報告の後、議事承認については異議なく承認された。次期当番県の、武藤章美三重県支部長の挨拶、小川敏彦副支部長の閉会の辞と、順調に経過し総会を



終えることができた。

今年度岐阜県支部は、当初会場を岐阜駅近くのホテルを予定していたが、開催直前になって予定ホテルが、関連倒産で営業停止という事態で、本年1月から数回の会場打ち合わせが、徒勞となり、急遽ルネッサンスホテルに変更となった。古田支部長はじめ支部役員は、思わぬ事態の対応処置に翻弄させられたが、4県会員のご協力で、予定通りの開催、進行ができたことを心から喜んでおります。

講演会「仁輪加人生四方山話」

総会のあと、岐阜県歯科医師会横山靖夫会長も来賓として出席をされ、古田岐阜支部長の地元、美濃市の国指定選択無形民族文化財「美濃仁輪加(ミノニワカ)」のよもやま話ということで「記念文化講演」の時間を過ごした。美濃仁輪加連盟磯部勲会長ほかのお好演・熱演で、ご参加の先生方に好評であった。なお、この講師は、古田支部長の、診療室の技工士さんということで、話の中身も「会員だからこそ納得」という話も多々飛び出すと、会場からの笑いも絶えなかった。

懇親会そしてまた来年へ

会場を移動しての懇親会では、各テーブルを廻って久しぶりの同窓各先生の笑顔が会場を埋めたが、時節がら、片隅で顔を突き合わせての話合いも見受けられた。

当日の古田会長の挨拶の一文より「水橋に 仁輪加きたりて 初紅葉」、また、来年の再会を約して、楽しい一時をお開きとした。

(林 玲三 記)



長野県連合会

平成14年度連合総会

9月7日総会が、同窓会本部より高橋義一理事、大学より野間弘康副学長をお招きして松本市のホテル「翔峰」で行われました。長野県下4支部の年1回の総会ですが、44名の出席で盛会になりました。

当日は記念講演として大学より一戸達也教授にお願いし「歯科麻酔学領域における最近の話題—臨床と教育—」と題して大学での研究の一端をご披露いただきました。出席した会員は熱心に受講され、日頃の臨床上の質問が多数寄せられま

した。

懇親会の後、二次会ではカラオケ大会になり、野間副学長、一戸教授も参加していただき、持ち唄を唄われ、夜の更けるまで楽しいひとときを過ごしました。

翌8日は親睦ゴルフ大会になり実力通り、武井利夫（S58卒）先生が優勝されました。

来年は南信の諏訪地区が当番で行われることを再会を期して散会となりました。

（中田金一 記）



福岡県支部

福陵会懇親会

例年行っている会員・家族を交えた懇親会を、今年はまだまだ暑さの残る9月8日(日)、東地区担当・花村信明先生のお世話で40名近い参加を得、筑豊・嘉穂町の「九州りんご村」周辺へのバスハイクを行いました。朝9時博多駅前を出発したバスは、福博の街を後に一路筑豊路へ。一時間余りで嘉穂町にある手作りハム・ソーセージの店に到着。ここで手作りのソーセージに挑戦することになりました。まずソーセージについての説明や作るにあたっての心得を聞くと、早速大人も子供もエプロン姿となり、数日前より漬け込み、準備された挽き肉と羊腸を使つてのウィンナー作りです。7～8mもの長さの羊腸に挽き肉を詰めたウィンナーを10cm位ずつに結紮していく作業です。最初は腸が破れたり、結紮したのが元に戻ったり、また長さや太さが不揃いと悪戦苦闘していましたが、そのうち要領を得るとだんだん手際良くなり、商品として店頭に出せる程?になりました。その後乾燥、ボイルされたウィンナーをそれぞれ満足げな顔で試食していました。

そして近くの「ペンションりんごむら」に移動してのバーベキューの昼食。生ビールを片手に手作りウィンナーを頬張りながらウィンナー談義に



盛り上がっていました。昼食後は隣接するリンゴ園でのリンゴ狩り。程良い大きさに赤く色付き、甘い香りのするリンゴを袋一杯にもぐ奥様方や子供達、また一方温泉につかり日々の診療の疲れを癒す先生方と、それぞれが初秋の休日を楽しんでいました。

帰りには近くの梨園にも立ち寄つての梨狩り、さらにその近くの公民館を借りて出張手打ちそばを食し、手作りウィンナーやリンゴ、梨など両手いっぱいのお土産を持ってバスは福岡への帰途となりました。今回は盛り沢山の企画で、参加者皆、大変和やかな楽しい一日を過ごすことができました。今回お世話していただいた花村先生ご夫妻、また協力していただいた若手の先生方に感謝致します。来年は北地区・北九州の担当です。

(永江健一 記)



クラス会だより

仁 蜂 会

昭和15年卒

爽やかな秋晴れに恵まれて、14年10月16日から18日までの二泊三日の旅行で、伊豆長岡の「長岡ホテル」に集まった。

参加者は、棟久 正(広島)、村田美雄(神戸)、山田 力ご夫妻(名古屋)、古屋富雄ご夫婦(山梨)、愛知正晴ご夫妻(東京)、大橋鉄男(東京)、水野広通(東京)、吉井 久(東京)、小鹿栄一ご夫妻(水戸)、柳田浩司(栃木)、平 光雄(横浜)で、会員11名、ご夫人4名の一行15名である。

一番西が広島、東北は栃木止まりで、近年それ以遠の参加者がいなくなった。

不参加者に連絡をとってみると、殆どの会員が健康上の問題で参加出来ない状態で、今後の増加は望めないようである。ちなみに、一昨年(平成12年)の参加者は会員12名、昨年は9名、今回が11名である。

第1日目の夜の総会並びに祝宴では、一番遠い棟久君が乾杯の音頭をとり、和やかな楽しい談笑

が始まった。戦後毎年行われている総会並びに旅行は、参加者のいる限り続けることになった。1年振りの再会で延々と続く談笑の中、相変わらず賑わいの中心は、棟久君と山田君である。三羽鳥の守君が欠けたことは残念であった。

第2日目も好天に恵まれて、熊笹の絨毯を敷きつめた伊豆スカイラインから雲の上の霊峰を望み、さらに堂ヶ島、下田を経て天城湯ヶ島へのドライブに秋を満喫した。「千鳥なぜ鳴く下田の沖でヨ」の下田夜曲ではじまるガイドさんのお吉や伊豆の踊り子等の美声にききほれ、伊豆の哀史の語りに、老いたるロマンチスト達は懐古の情にしばし時を忘れるドライブの一日であった。

不参加の皆さんは、どうか健康を回復されて、一人でも多く来年の旅行に参加されることを切に望む次第である。

(平 光雄 記)



五十二期会

昭和22年卒

卒後55周年記念クラス総会

秋晴れの下、52期会卒後55周年記念総会が、9月19日(木)東陽町のホテルイースト21東京に43名が集い盛会だった。正午、山崎幹事長のユーモア溢れる挨拶に始まり、酒匂幹事から経過報告、庶務、近況等について説明。小倉幹事と会場の下見など奔走した三輪幹事が欠席でしたが、会計は充分な余裕があって安心をとのこと。

続いて、今春ご子息が母校麻酔科の教授になられた一戸君の音頭で乾杯し宴に入った。四国から西村名誉教授、清水市の田村夫妻、小谷君等、久しぶりの学友とも再会でき積もる話に花が咲いた。各人各様のスピーチに笑い、感動し、共鳴して3時間余り時の過ぎるのも忘れた。

また関口夫人が故恵造君の遺影を抱いて挨拶されたのには胸が詰まった。多くの個性ある人気者や、有能者も早世して今は入学時の半数以下の100余名になってしまった。

時まさに大東亜戦争の真っ只中、昭和18年4月入学。各前線は敗色次第に濃くなり、全てが統制下で物資難だった。終戦を境に世相は一変したが、戦後も戦前に増して苦難に満ち悲惨な生活が続く、これ程時代に鍛えられ変化に富んだクラスは東園百余年の歴史の中でも稀だろう。当時の世

情、困苦の詳細は語り尽くせないが、時代を共にした52期生の結束の根源を感じる。次回も現幹事留任を決定承認し、山君の閉会の辞で幕を閉じた。

夜のオプションは、ベイブリッジを渡って東京タワー250mの展望台へ。林立する高層ビルにネオンが眩しいばかりに輝いて、55年前一面焦土と化した地を思い浮かべ感慨ひとしお。あと浅草で釜飯、焼き鳥で有名な「井鳥や」へ。松茸、五目2種2個の釜飯を二人で半分づつ分け合い味見して昔を偲ぶ趣向。話尽きず11時過ぎ散会した。

また、一泊組は翌日、東京ディズニーシー、若洲リンクスゴルフ場、或いは上野の都美術館等を楽しみ、次の再会を約し全国に散じていった。

設営の小倉君他在京幹事の協力に感謝し、また長安君のいつもの見事な記念写真に感謝します。

出席者(同伴)内田、大多和、岡田一郎、小倉、五味、酒匂、田熊、田村清史、鳥居、橋本、眞下、矢島、(単身)一戸、伊藤孝、大村、片田、小谷、杉本文子、関口泰子、関田、立石、田村陽、長安、西村、船坂、山、山崎、山本一成、山本照一、渡辺雄幸、根本。(順不同 敬称略)

(根本卓光 記)



五十鈴会

昭和25年卒

綿のような速い雲が西新宿のビル群にぶつかり、雨を散らしている下で、平成14年五十鈴会“霊峰富士と富士五湖錦秋甲州路親睦旅行”のバスは、1年ぶりで会う友の笑顔を乗せて首都中央道から大月ICへと出発した。

リニアモーターカー実験場で、今回の山梨総会のお世話くださった小倉兄、天野琢也兄と合流。リニアは次世代の扉を開く輸送システム超電導磁気浮上式鉄道で、磁力で零戦の速さで安定走行可能です。

吉田で中華料理の昼食を済ませ、忍野八海、富士湧水の里で伏水を見て、水族館で五湖の魚や世界鯨展を見学、海拔1,100mの山中湖ホテルマウント富士で本年度五十鈴会総会が開催された。

早河幹事による開会の辞、大山代表幹事の挨拶、物故会員の黙祷、平成13年歳入歳出決算報告が中尾幹事からされ、天野 恵監事の監査報告を全員一致で承認し、フランス料理の宴会が始まりました。地元の天野兄より桃の花の咲いた頃に大会を開きたかったとの話があり、紅萌ゆる桃の花下る道にいでたつ乙女の萬葉時代のロマンを想起した。

翌朝深い霧の晴れるのを待ち、北斎の赤富士の現れる5時59分に向けて冬仕度で庭園に集まった

が、バイキング朝食を済ませ山の方を見ると何と大観の“雪富士”があった。全員集合で記念撮影。富士スバルラインの溶岩流上の赤松林や、高度差による異種類樹林の紅葉を堪能し眺望絶景言なし。

人形与勇輝館を見て信玄ほうとう昼食。総しほり辻ヶ花一竹館からオルゴール館へ時と噴水と自動人形とオルゴールが一斉に、講堂で“タイタニック号”用のパイプオルガンによる自動演奏の“総統の鷲の旗の下に”のオルゴールオーケストラが腹にひびく音量であった。

湯村温泉常磐ホテルの日本料理椅子席晩餐会は好評。次々とマイクが替り新しい歌、なつかしい歌が披露され、小倉中尾組のデュエット。高澤兄の同期の桜は来年出席期待。来年の総会は千葉で高原映忠兄に決定。大拍手で迎えられた。校歌斉唱で有終美を飾った。今回もたくさんの方のご寄付に感謝。

翌日は奇巖溪谷続く昇仙峡、メルヘン世界絵、サントリーワイナリーから駅近くの甲州印傳で買物。高速道路を5時に新宿到着。来年の千葉での再会を期して解散した。疲労しないよう綿密な計画と下調べ、サービスと人選それに天が味方しました。ありがとうございました。感謝しております。
(川上正義 記)



千 秋 会

昭和27年卒

千秋会第51回総会は、9月21日(土)東京原宿駅前「南国酒家」にて開催された。生田君の司会のもとに、庶務、会計報告も承認され、次期総会開催地は幹事会一任となり終了した。今年の夏は殊の外暑く、9月末だというのにまだ汗ばむほどの陽気であった。

次いで懇親会が、最も遠方の島根から出席した、加藤富栄(旧姓松岡)さんの乾杯の音頭ではじめられた。宴たけなわになったところで、各人の近況を順番に話してもらった(欠席者からの近況は例年の通りプリントしてみんなが読んでいます)。卒後50年も経つと、もうリタイアして悠々自適の生活を送っている者、まだまだ身体がきくのもう少し現役をやって行きたいという者と、いろいろである。とにかく、年をとると何事をやっても疲れ易くなる一という点では一致した。懇談は約2時間に及び8時頃散会となった。年々人数が減っていくのはクラス会の宿命である。総会もあと何年続くかわかりません。身体に異常のない方は元気な姿を見せて欲しいと願っています。

訃報

昨年12月、桜井智司君(茨城県古河市)胃ガン。本年2月、小船井郁夫君(新潟県小千谷市)食道ガン。8月、小川 巖君(アメリカ・カリフォルニア)肺ガンで逝去されました。つつしんでご冥福をお祈りいたします。

青柳君の奇禍

総会の3日後の9月24日夕刻、強盗殺人犯により青柳文雄君が突然刺殺されました。東京近郊の方は、新聞テレビなどでご存知のことと思います。診療所を午後6時頃出て、品川区内の自宅に帰ったとたん、何者かによって金を奪われ刺殺されたということです。家族は旅行中で不在だったそうですが、当日夜のニュースでこのことを知り驚愕しました。彼は幹事ですから勿論総会に出ていました。ゴルフを年に80回もやっていると大変元気に話していました。奥様はじめご家族の悲嘆、いかばかりかと推察している次第です。

10月20日

(三浦美儀 記)



五 期 会

昭和32年卒

会員の多くが古希を迎える今年度のクラス会は、10月10～12日の3日間行われ、東京在住で和歌山出身の高島、荻野両人が世話人でした。51年前の入学式で顔を合わせ、共に学び巣立った級友で、すでに他界した24名の追善供養のため高野山で一泊し、翌日は紀州の尾根沿いにバスで、今人気上昇中の熊野三山詣でをして元気な吾が身に感謝。紀伊勝浦温泉のホテルの山上館でクラス会を開催。次の日の午後南紀白浜空港と白浜駅で解散となるよう日程が組まれました。

2001年4月紀伊山地の霊場と参詣道が世界遺産暫定リストに追加され、NHK朝のドラマで熊野地域が放映されて知名度がより高くなる。高野山總持院ではきれいな枯山水の庭と格調高い調度品の整った部屋が用意され、早朝の勤行で、老若数人の僧が朗々と真言宗理趣教の読経と物故会員名を読みあげる中、参列会員が順次進み出て、このために京都よりとり寄せたお香で合掌しました。ゆらめく灯明と香ぐわしさ、音律をふむ声と木魚の音、しばし五感を満たされご冥福をお祈りしま

した。この後能弁な案内役の先導で山内の一部と奥の院にお参りし、バスで熊野に向かい、本宮大社と速玉大社に詣で、陽の入る前に那智の瀧に向かいました。古くは花山上皇、近くはかのアンドレ・マルローがその光景に涙したという瀧の前で各人が撮影しあい、夕べに浦島ホテル山上館に入りました。新鮮な海の幸を目の前にして、クラス会も順調に終わり、十分に味わいつつ尽きぬ話に時が経ち、夜更けまで美声を競った元気な好令者組もいた由。最終日の朝、那智山大社に杖を頼りに参拝した後一路白浜に向かい午後2時頃解散。

(参加者順不同敬称略)。同伴：吉木周作、今西孝博、伊藤英之、高橋 標、犬飼啓元、澤田宣彦、高島一郎、荻野益男、単身：小沼 武、大橋 叔、高田邦彦、中川忠夫、井口由彰、釜田泰治、関口春也、伊藤郁雄、石井愼一、田辺勢一郎、総勢26名。

15年度のクラス会は秋頃、三陸方面の予定です。

(荻野益男 記)



八 紫 会

昭和35年卒

いつまでも夏の暑い日が続いた今年も、そろそろ涼しくなり、山々の頂が色づき始めた10月12日、山代温泉「たちばな四季亭」に集合。ここを出発点として、今年も会員相互の親睦と、楽しい観光の小さな旅が始まりました。

12日「たちばな四季亭」では、午後4時から受付を開始し、6時に総会、7時から懇親会へと移りました。懇親会は親交を深める人、カラオケを唄う人、日舞を舞ってくださった人、と和気藹々の楽しい会でした。

翌13日はゴルフをする人、金沢市内観光をする人に別れました。

片山津ゴルフ倶楽部でのプレーは、気心の知れた友同志、晴天に恵まれて、成績にはこだわらず心から楽しんだコンペになりました。

一方、市内観光は兼六園見学。ガイドの面白い説明に爆笑しながらの散策でした。

次に、茶屋街に行き、昔の遊郭を見て、古の金持ちの雅な遊びに思いを廻らせた一時でした。

ゴルフ終了後に帰る人、市内観光の後帰る人達と別れ、千里浜なぎさドライブウエーをバスで揺られながら能登和倉温泉へ、そこでゴルフ組の

残った人達と合流。その夜は、加賀屋雪月花で宿泊しました。

14日は、和倉を出て富山入り、氷見フィッシャーマンズワーフで買い物。

この旅で、日本海の魚はおいしいと口々に言っていました。フィッシャーマンズワーフは主として魚の販売、生魚や干物等。皆さん本当にたくさんの買い物をしておられました。

買い物の後は、国宝・瑞龍寺の見学。今放映中の大河ドラマ「利家とまつ」のゆかりのお寺。ボランティアのガイドさん付いてくれて、“ここは反町のお墓”、“ここは唐沢のお墓”等と笑わせながら、解り易い説明をしてくれました。信長と利家の主従の関係を偲び、昔、今も三人程修業しておられ方がいらっしゃいますが、ここで修業されたであろう修道僧の姿に心を馳せながら……。

こうして八紫会の楽しかった今年の旅は、静かに終わりました。

来年は新潟に決まり、またお会いする日を楽しみに、お互い健康に留意して頑張りましょう。

(平井和輝 記)



歯 士 会

昭和38年卒

7月の空は真青で心地良い初夏の風が頬をなでて北国は素晴らしい季節でした。

7月19日、20日、21日の3日間旭川市に於いて第11期、歯士会の総会が開催されました。北海道は3回目になりますが、道北の地は初めてで中川武幸会長他35名の学友とご家族の方が参加され大変にぎやかに楽しい同期会が始まりました。

19日（第1日）は北進一君が教授として活躍されています旭川医科大学歯科口腔外科外来に於いて日常臨床では難症例の手術を見学、特に心疾患、他臓器に重篤な疾患をもつ患者の歯科治療並びに手術に際しての注意事項、特にモニター監視下での処置の必要性を術中で学び、その後講義を受け大変有意義な研修会でありました。勉強の後は幹事、並木稔君推薦の北国の郷土料理と大雪の酒を酌み交わしながら、池田二郎君の北海道の魚や酒の談義に感心したり、大笑いしながら楽しい一夜を過ごしました。

翌日20日（第2日）は少し曇り空ながら早朝よりゴルフ組、大雪山登山組、旭川市内観光組とがそれぞれの旅を楽しんだ後、北の温泉宿「白金温泉観光ホテル」の総会に集合いたしました。総会に先立ち動物写真家目黒誠一先生の「モモンガを追って」と題して特別講演があり、北の国の小

な可憐な動物の生態について1時間にわたっておもしろおかしくお話を聞きました。総会では中川会長の挨拶に始まり同窓会報告、鹿島隆雄君より歯士会本部の報告があり、総会を開催した幹事を代表して北進一君の歓迎の挨拶と祝盃、それはそれは楽しい懇親会が始まり二次会も各部屋で夜遅くまで笑い声が響いていました。

21日（第3日）はメインイベントとしての富良野観光の1日でした。十勝岳のふもとの望岳台の噴火口を見物し、晴天の下、ラベンダー祭の日と重なって大勢の観光客の中、会員全員がバスにて「北の国から」でおなじみの高田ファームに赴き、写真を撮り合い、ラベンダー色と味のアイスクリームをほおばりながら拓真館で富良野の四季の畑や丘陵の美しい写真展を鑑賞し、美瑛パッチワークの路で記念写真を撮り合って最後はユーカリ織り記念館で織物の素晴らしさを堪能していただきました。折しもテレビドラマ「北の国から」が全国に報道され、きっと富良野ラベンダー畑を思い出して楽しんでいただけたと思っております。担当幹事とし、北進一君、並木稔君、千葉薫君、池田二郎君、本当にご苦勞様でした。

（柳 清二 記）



十二期会

昭和39年卒

東京歯科大学12期会の同窓会が10月11～14日にかけて群馬県にて行われた。新幹線が利用でき便利な場所は高崎ぐらいしかないので高崎に集ってもらった。奥様とご一緒が7名、個人の出席が20名であった。12日はゴルフと観光に別れてそれぞれ楽しんでもらった。観光組は普段美食に浸っている？と思ひ昼食に精進料理を用意したが、量が多すぎて皆さん苦勞していたようだ。

13日は浅間の溶岩を見学しながら、群馬の名湯草津温泉に案内し、地酒と温泉を楽しんでもらった。以前ならバスの中から酒量があがっていたのに還暦を過ぎたせいかなかかなり温和しい旅行であっ

た。

去年の和歌山大会以来1年にわたって準備をしたが、その間に一人が逝去5人程病氣や怪我で出席出来ないのが残念であった。

来年は三吉君のお世話で山口県で行うことが総会にて決定した。再来年は茨城県の山口君が幹事になることもあわせて決まった。

是非ながいあいだ元氣でお会いしたいものです。全国から群馬までおいでいただき感謝申し上げます。

(山口保男 記)



志 学 会

昭和42年卒

平成14年度の総会を9月15、16日、箱根湯本の河鹿荘で38名の参加を得て開催しました。午後6時から田辺晴康君を司会進行に、座長を高橋利武君で始まりました。会長の大岡紀一郎君の挨拶に続き、13年度の会務報告、会計報告を赤穂英生君が行いました。次いでこの4月に岡山大学歯学部長に就任された永井教之君に志学会からお祝いをお渡し致しました。東京歯科大学の現況報告を山口秀晴君、同窓会本部報告を矢崎秀昭君がそれぞれ行いました。永井君からは教育制度改革や厳しい状況におかれている国立大学の報告がされ、山口君からも臨床研修医の義務化や私学の経営の難しさなどの話が聞けました。

議事に入り、次期志学会総会は、開催地が新潟県柏崎市と決定しました。勝海 昭君から承諾の挨拶があり、観光地図や旅館パンフレットなどが全員に配られました。準備と手際の良さに感激しました。閉会の挨拶を羽生晴好君が行い、記念撮影後に懇親会に移りました。

中川勝洋君の挨拶、中島史和君の乾杯と続きますが、今年のクラス会のスローガンを「くつろぎとダベリングとギャンブル」と掲げて、ゴルフに参加しない仲間はゴルフ成績を競馬に例えて、馬券を買うという趣向を準備してくれました。ゴルフの優勝は合田 功君、準優勝は大澤武雄君、ベストグロは中川（勝）君。馬券は4名の当たりとなり、参加された奥様方の当たり確率が高く、大い

に盛り上がりました。二次会は広い宿泊部屋に移り歯科界のこと、保険点数改訂のこと、子弟の教育のことなどが話題になり、楽しい語らいに時間の過ぎるのも忘れ深夜にまで及びました。

翌日は雨の中の観光となりましたが、13名がマイクロバスとタクシーに分乗して、フラワーセンターや大涌谷を観光し、おいしい蕎麦で昼食をいただき、寄木造りの実演を見物して、2時前に湯本駅前で解散となりました。

来年のクラス会は、平成15年10月12、13日、宿は柏崎市の創業明治10年「日本海の天守閣 岬館」です。新潟県の皆様にお世話になりますが、今から楽しみです。今年は都合がつかず参加されなかった皆様も、ぜひ来年こそ新潟でお会い致しましょう。いろいろ準備された東京幹事の方々と、古賀、赤穂君に参加者一同深く感謝しています。

参加者：赤穂英生、浅野 宏、飯島和彦、榎本洋史、榎本順子、海老原典子、大岡紀一郎、大澤武雄、大曾根 洋、加藤 強、勝海 昭、首村泰永、菊池雄一郎、窪田洋一、黒須 誠、黒田昌彦、古賀克隆、合田 功、柴田 功、鈴木則雄夫妻、田辺晴康、高橋利武、立川 潤、中川勝洋夫妻、中島史和夫妻、永井教之、西川吉博、羽生晴好、橋口哲郎、増田憲司、松本信彦、松本佐代子、三宅健一、水上佳彦、矢崎秀昭、薬師寺 仁、山口秀晴、山中喜夫
(黒田昌彦 記)



水 公 会

昭和56年卒

本年4月1日付で、我がクラスメイトの一戸達也君が麻酔学講座の教授に昇任しました。このことを皆でお祝いしようということに話が決まり、真夏の日差しが照りつける7月14日、この日は偶然にも一戸君の誕生日だそうですが、銀座の「キハチチャイナ」にて「一戸君の母校教授昇任を祝う会」を開催しました。

クラス主任を務めていただいた西村正雄先生には、わざわざ松山から駆けつけてくださって祝辞を頂戴しました。

小林会長は挨拶の中で、大学で一戸君の活躍ぶりを紹介し、他の大学でも有泉君（静岡県立大学）、佐々木君（岡山大学）らが教授として頑張っておられることを報告しました。

また大学で長年一緒に勤務してきた中野さんからの祝辞では、一戸君は学生に対して怒ると、じつは結構怖いことで評判になっているとうち明け、笑いを誘いました。宇井君と黒田君からも、ご子息が東蘭に入学されたという立場から祝辞が披露されました。

余興では、杉村君の司会によってクイズミリオネアを楽しみました。一戸君には今日は酒の肴になってもらおうと、保険請求に関する難問を浴びせかけ、さすがの一戸君も汗だくでしたが、ライ

フラインをうまく利用して事なきを得たようでした。

一戸君は挨拶の中で、麻酔科に残ったのはじつは根治が嫌いであり、できれば教育の場で役に立ちたいという動機が発端となったことを明かしてくれました。一戸君、教授昇任おめでとうございます。その目標に向かってこれからも大学のためにぜひ頑張ってください。水公会一同期待し、応援しています。

このたびの出席者は以下の通りです。じつに久しぶりに再会できた会員が多く、記帳してもらうまで誰なのかわからないという状況もありましたが、それぞれ元気に活躍している様子で明日への活力を吸収できた次第です。皆様お疲れさまでした。

池田(信)、石井(治)、宇井、梅沢、海野、春日、菊地、黒田、小林、佐藤(健)、佐藤(浩)、猿田、重見(京)、渋谷、菅谷、杉村、鈴木(博)、高門、高木、辻(孝)、中野、西村(臣)、西村(文)、野嶋、野村、橋本、花岡、藤関、船岡、古屋、松永、水沼、宮崎(晴)、森(泰)、森永、山倉、若月、池田(嘉)。

(森 泰彦 記)



爽 翔 会

昭和62年卒

10分の1・18名。それが多いのか少ないのかはご判断におまかせします。この時期、地区の旅行や夏休み最後の家族旅行の計画もありかと思いましたが、学会や講習会の多い秋よりは……と考え、とにかくやってみようということで爽翔会初の旅行総会が8月24日、25日に群馬県伊香保温泉「福一」にて行われました。

土曜日なので診療を終えて来る者、先乗りして伊香保C・Cにてゴルフに興じたり、観光して来る者。集合は午後5時半、ひとつ風呂を浴びて総会を開催。袋君より旅行の企画から今日までの経緯説明。森より評議員削減のためこれからは連絡役となること。また浜野君よりプール金等の説明があり無事終了。宴会へ突入しました。懐かしい北村（晃）君の名調子にて幕を明け、いつの頃からか恒例の最遠来者の小川（欽）君の乾杯の発声、なんと彼は優勝力士のような大盃を飲み干しておりました。参加者全員より近況報告。学術的話題を交える者、公的役職の話をする者、ゴルフの話題をする者、友人の近況まで届けてくれる者、いろいろあり大いに盛り上がりましたが、本日のメインはやはり新婚ホヤホヤの浜野君。30分以上に亘り、プロポーズの言葉のみならず、その時のポーズまでバンケットさんと共に実演してくださいました。本当におめでとうございます。中締め後は幹事部屋にて大酒盛り大会。「オレ入学

以来初めてアイツと喋ったよ」とか「あの〇〇君がねエ、偉くなったもんだ」なんて話がいっぱい。翌日はやや宿酔いながら朝食を取り解散。ゴルフ組は伊香保国際C・Cに場所を移しプレイ。小野瀬君や大川（豊）君のうまさに驚嘆。オープンコンペでも小野瀬君は優勝して自転車を貰っておりました。

今回開催に至る迄に参加できなかった仲間からも130を超えるお返事、近況を届けていただきそのデータは処理中で今後の会に役立てます。

主任・副主任からも励ましのお手紙をいただき、宴会にて披露させていただきました。ありがとうございました。

最後に企画に賛同し幹事会に参加いただいた皆様、またこの旅を全て演出してくれた袋君には心より感謝する次第です。今後の活動は未定です。近々に反省会を兼ねた幹事会を催したいと考えております。以上報告まで。また会う日まで。

〈参加者〉 ～前列左より（敬称略）～

袋 一仁・武井和彦・森 俊一・川又正典・小野瀬弘記・本間宏昌・熊倉正和・浜野弘規・小川欽也・大川豊徳・大川秀樹・北村 晃・奥慶仁・高橋敬人・小澤靖弘・牧野 寛・土子吉久・田村 元

（森 俊一 記）



OB 会・グループ・サークルだより

山口公彦君 内閣総理大臣杯日本社会人ゴルフ選手権優勝

去る10月9、10日、浜松シーサイドゴルフクラブ（6,748Y パー72）で行われた社会人最高のゴルフツアーを決める当選手権において、昭和62年卒業ゴルフ部出身三重県支部の山口公彦君が優勝されました。当選手権は今年で33回目を迎え、全国各地で開催される予選大会を経て、2日間36ホールストロークプレーでチャンピオンを決定いたします。第1回大会は、佐藤栄作首相からスポーツニッポン新聞社社長（大会会長）に総理大臣杯が贈られました。

以下本人談です。

「大会1日目は微風の好コンディションの中、スタートの10番パー4の第2打は、右ラフから残り180Y。右から張り出している林でピンが真つすぐ狙えないため、3Iでスライスをかけた1打がグリーン左サイドから乗ってゆき、右奥のカップに消えました（背すじが寒くなる思いがしました）。続く11番パー3、200Yも3Iで4mにつけバーディーにし、2位と2打差の69単独首位で終え、2日目73、トータル142で10年ぶりのアンダーパーで初優勝することができました。

初日トップでの優勝はほとんどないというジンクスがあったそうですが、3番でチップインバーディー、2位の総武C.C.の白井敏夫さんに2打差



本育会ニ

に迫られた16番では8mのバーパットを決め、そのまま逃げ切ることができました。タイトルがはしくてもなかなか獲れなかったのですが、こんな大きなタイトルがとれて感無量です。これも家族の協力、弟（信次君）、妻（八木優子プロゴル

ファー）のアドバイスのおかげだと思っています。」

学生時代から山口君はゴルフに対する情熱をもっていました



が、卒業後もその情熱をたやすことなく、日々努力をしていました。また、若林貞男プロ（グラハムマーシュの師として有名）という師と出会ったことも彼にとって幸運だったと思います。

私達歯科医は、日々診療において多くのストレスをかかえがちです。その解消としてゴルフをされる方も多いと思います（かえってストレスが増すということも多々ありますが）。よくゴルフは人生の縮図のように例えられますが、彼のように目標を持ち、人間性をみがくということは、大変素晴らしいと思います。

彼のタイトルは大変大きなものでありますが、仲間うちのコンペ、同窓会コンペ、所属するゴルフコースのチャンピオン等目標はいろいろありますので、日々私も努力していきたいと思います。

最後になりましたが、山口君、本当におめでとうございます。また次の目標に向かって頑張ってください。

山口公彦君略歴

昭和62年卒 ゴルフ部出身

今年の日本アマにも出場（2回目）

国体選手として出場（神奈川、熊本、宮城、高知各大会）伊勢カントリークラブ ハンデ+1
現在三重県志摩郡阿児町鶴方1456（三重県支部）山口歯科医院を弟、信次君（平成4年卒）と共に経営

（東京歯科大学ゴルフ部監督・昭和57年卒
武藤 彰 記）

庶務日誌

11月

1) 理事会

11月15日(金) 第6回理事会

2) 委員会

11月6日(水) 共済検討委員会

6日(水) 学術部委員会(プログラム委員会)

11日(月) 広報部委員会(会報編集)

12日(火) 役員連絡会

14日(木) 学術部委員会(学術情報研究委員会)

18日(月) 学術部委員会(プログラム委員会)

20日(水) 学術部委員会(研修会)

25日(月) 学術部委員会(企画委員会)

28日(木) 学術部委員会(学術情報研究委員会)

29日(金) 学術部委員会(プログラム委員会)

3) 出張

11月2日(土) 北海道地域支部連合会卒後研修会
講師・梅村長生氏(愛知三の丸病院
歯科口腔外科部長)

2日(土) 東京地域支部連合会総会
天野会長、高橋理事出席

2日(土) 本学教授と同窓会役員との懇談会

9日(土) 北多摩支部学術講演会
講師・花岡洋一講師(母校)

9日(土) 十勝支部学術講演会
講師・森永一喜講師(母校)

16日(土) 東歯関係日歯役員・代議員、都道府
県歯会長と同窓会役員との懇談会

16日(土) 第48回全国歯科大学同窓・校友会
懇話会

坂井・梅村各常任理事出席

17日(日) 静岡県支部総会 大友副会長出席
学術講演会 講師・下野正基教授
(母校)

23日(土) 近畿地域支部連合会総会(和歌山
県支部担当) 天野会長、金子副
会長、高田理事出席

26日(火) 父兄会役員と同窓会役員との歯科
臨床研修医に関する打合せ 池田
専務理事、渡辺・高橋・天野各常
任理事出席

30日(土) 東信支部総会

学術講演会 講師・後藤忠正氏
(千葉県開業)

30日(土) 愛媛県支部総会

学術講演会 講師・平井泰行氏
(日歯常務理事)

4) 事業

11月16日(土) 平成14年度評議員会・第108回定
時総会

12月

1) 理事会

12月18日(水) 第5回常任理事会

2) 委員会

12月2日(月) 学術部委員会(プログラム委員会)

4日(水) 広報部委員会(会報企画)

6日(金) 学術部委員会(全体委員会)

9日(月) 学術部委員会(プログラム委員会)

16日(月) 情報委員会

3) 出張

12月1日(日) 神奈川県支部連合同窓会総会
池田専務理事出席

1日(日) 愛知県支部総会 天野会長出席

7日(土) 熊本県支部総会
渡辺常任理事出席

学術講演会 講師・石上恵一教授
(母校)

8日(日) 神奈川県支部連合同窓会学術講演
会 講師・山根源之教授(母校)

8日(日) 茨城県支部総会 金子副会長出席
学術講演会 講師・山田了教授
(母校)

8日(日) 千葉県支部総会 天野会長出席

9日(月) 武蔵野支部学術講演会
講師・平井義人教授(母校)

13日(金) 父兄会役員と大学幹部との懇談会
天野会長出席

14日(土) 山梨県支部総会 池田専務理事出席

15日(日) 栃木県支部総会 池田専務理事出席
学術講演会 講師・平井泰行氏
(日歯常務理事)

20日(金) 日本橋支部総会 天野会長出席

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し
心からご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略・届出順)

●昭 29 卒	牛 木 実 (72歳)	直 腸 癌	14. 9.22
南 信 支 部	〒395-0063 飯田市羽場町3-729-1		
●昭 24 卒	大 内 英 男 (75歳)	リ ン パ 腫	14. 9.21
千葉県支部	〒272-0034 市川市市川1-9-11 サン市川ハイツ408		
●昭 30 卒	山 口 三 郎 (73歳)	脾臓粘液産性腫瘍	14. 9.23
札幌支部	〒062-0034 札幌市豊平区西岡四条7-8-1-1302		
●昭 23 卒	原 田 保 (76歳)	肝 臓 癌	14. 9.23
広島県支部	〒729-2402 広島県豊田郡安芸津町三津3713		
●昭 14 卒	前 岡 弘 (85歳)	脳 梗 塞	14. 9.18
愛知県支部	〒491-0868 一宮市向山南1-6-1		
●昭 27 卒	青 柳 文 雄 (71歳)		14. 9.24
佳原支部	〒152-0002 目黒区目黒本町5-23-16		
●昭 11 卒	大 藤 幸 雄 (88歳)	ウツ血性心不全	14. 7.28
静岡県支部	〒411-0844 三島市清住町1-20		
●昭 47 卒	山 田 幸 宏 (56歳)	多臓器不全	14. 9.29
札幌支部	〒064-0918 札幌市中央区南十八条西7丁目2-30		
●昭 10 卒	松 本 正 一 (90歳)	肺 炎	14.10. 3
豊島支部	〒336-0023 さいたま市神明1-8-7		
●昭 38 卒	山 本 厚 (64歳)	肺 炎	14. 9.19
葛飾支部	〒227-0054 横浜市青葉区しらとり台7-8		
●昭 11 卒	加藤木 親 郎 (88歳)	心 不 全	14.10.10
横浜北部支部	〒221-0013 横浜市神奈川区新子安2-12-18		
●昭 14 卒	足 立 笑 吾 (86歳)	多臓器不全	14. 9.28
京都府支部	〒620-1425 京都府天田郡三和町菟原下74		
●医 学 校	橋 田 雅 人 (105歳)	肺 炎	14.10.10
京都府支部	〒604-0833 京都市中京区押小路通間ノ町角左京町		
●昭 26 卒	藤 井 沖 正 (72歳)	肺 炎	14.10.25
兵庫県支部	〒655-0043 神戸市垂水区南多聞台4-6-3		
●昭 23 卒	柚 木 一 夫 (77歳)		14.10.26
富山県支部	〒939-0626 富山県下新川郡入善町入膳5218		
●昭 36 卒	高 橋 是 崇 (66歳)	急性心不全	14.10.25
秋田県支部	〒010-0001 秋田市中通3-4-58		
●昭 26 卒	青 柳 善 郎 (77歳)		14.10.28
豊島支部	〒170-0003 豊島区駒込6-5-20		
●昭 40 卒	木 全 哲 夫 (62歳)	心 不 全	14.11. 4
愛知県支部	〒441-8051 豊橋市柱四番町101		
●昭 32 卒	村 上 慧 (71歳)	胃 癌	14.11. 2
苫小牧支部	〒053-0011 苫小牧市末広町3-3		
●昭 9 卒	青 木 勇 三 (92歳)	心 不 全	14.11. 1
麻布赤坂支部	〒106-0046 港区元麻布1-2-24-412		

●昭 12 卒	坂 東 匡 男 (92歳)	敗 血 症	14.11. 8
和歌山県支部	〒642-0004 海南市馬場町1-4-2		
●昭 18.9 卒	鈴 木 三 郎 (82歳)	心 不 全	14.11.10
大阪府支部	〒585-0005 大阪府南河内郡河南町大宝2-2-12		
●昭 26 卒	山 中 弘三郎 (75歳)	胃 癌	14.11.15
愛知県支部	〒461-0001 名古屋市東区泉1-3-4 花木屋ビル		
●昭 17.9 卒	神 田 秀 彦 (81歳)	脳 梗 塞	14. 9.27
静岡県支部	〒410-2323 静岡県田方郡大仁町大仁437-1		
●昭 8 卒	阿左見 工 (92歳)	急性心不全	14.11.20
千葉県支部	〒272-0034 市川市市川1-3-21		
●昭 34 卒	宮 田 富美雄 郎 (69歳)	肺 炎	14.11.20
熊本県支部	〒861-1331 菊池市隈府花見町220		
●昭 16 卒	目 黒 敏一郎 (84歳)	食 道 癌	14.11.25
福島県支部	〒960-8033 福島市万世町3-26		
●大 15 卒	今 井 龍 二 (98歳)	肺 炎	14.11.29
中野支部	〒177-0041 練馬区石神井町3-25-21 ライオンズマンション601		

坂

寛君を偲ぶ

十六会 (昭和19年9月卒)



千葉県佐原市坂家次男として生まれ、神宮競技場にて学徒出陣に参列し、東京歯科を19年9月卒業し、北支派遣軍として出征衛生部幹部候補生として入 (南京) 隊、関東軍衛生部幹部候補生として入隊

(新京)、鮮満国境通過にて終戦、以後平壤 (興南) にてまさに悲惨の一語につきる捕虜生活に入る。その節東歯大元学長関根永滋先生の言葉を借りると、私事になりますが終戦直後にソ連に抑留され捕虜となり、収容所で生活しましたが、約2年間坂君と共に生活し共に働き坂君の心温まる援助のお蔭で幸いにして復員帰還することができました。私が戦後の母校における子弟の教育に多少なりとも役に立ったとすれば、坂君に負う所が極

めて大でありますと述べておられます。十六会の幹事長として記念誌刊行のことばに、単に記録の集積に止まらず、共に生き抜いて来た魂の告白の発露として、我々の連帯感と共感を深める、きずなとしたいという考えを持っていました。また入院して休診中の同級生の診療所に半年にわたり応援にかけつけたことも親分肌というか、おもしろいのあることだと思っています。

寄る年並には勝てず台東区歯科医師会、東京歯科大学同窓会、理事、副会長、東歯大地域支部連合会と要職を経て、「ぼけ」も少し始まり「安楽死」を常に求めていた。奥様の言葉では無趣味が趣味な人生を気楽に全うしたと言われていました。慎んでご冥福を祈ります。

(山根照人 記)

原 君を追悼して

五十二期会（昭和22年卒）



原 達也君は、平成14年に入ってから体調を悪くし、2月には入院、3月には容体が急変し面会謝絶、その後7月2日に肺炎を併発し逝去された。享年78歳は、故人が口癖のように平

均余命までは生きなければ、と言っていた年齢であった。奥様のお話では、すでに10年前から糖尿病の治療をされ、食生活の改善および運動療法などを熱心に試みていたとのこと。昨年暮れに会った際には、「君と東京で会った際と比較して大変スマートになった」と小生が言うと、彼は「子供がおらんけん、家内が一人になるとかわいそうじゃろ、いろいろと努力しとるけんおう」と元氣な伊予弁が返って来た。したがって彼の逝去は、

意外で残念でならない。

ここでは、故人の一端を紹介する。ご尊父は、軍人（潜水艦艦長で戦死、2階級特進中將）であった関係から、戦後に長男で学生の方原君も経済的に苦労した。結婚後に松山で開業され、歯科医師会では、松山市歯科医師会会長、県歯科医師会理事および副会長、日歯代議員等役職を勤められた。地域社会では、県高齢者相談センター運営委員会会長として活躍された。それらの功績により、平成4年には、日本歯科医師会の有功賞、平成8年には、勲五等双光旭日章を受けられた。

終わりに原 達也君のご冥福を祈ります。故人の住所は名簿と異なるため記載しておく。

〒790-0903 松山市東野4-8-25 原 和江様
TEL 089-977-6645

（西村正雄 記）

松島静吾君の下北半島

久喜会（昭和36年卒）



青森県に下北半島という人差しを鍵型に曲げたような半島がある。そのつけ根の所あたりが「むつ市」らしい。らしいと言うのは行ったことがないからである。松島静吾君からもそれ

をくわしく聞いたことがない。

黒い雪焼けしたような顔に活発な目玉と白い歯を持つ彼が、ヒマラヤの山の写真と山の地図とを机の上に広げて、くい入るように見ていたのを思い出す。目の奥には憧憬の濃い光がやどっていた。

彼は結局ヒマラヤへは行ったのであろうか。それさえ知らない。そんなことはどうせいつか、どこかで出合って、彼から聞くことができる、と思っていた。彼の話は実によかった。山で滑落した男の最後の声が今も耳の中で鳴っている、と

言っていた。

彼はそのために身体を鍛えていた。

あんな頑健な松島君が、こうして、何の話も聞かないでいるうちに死んでしまうとは思ってもみなかった。多分彼はクラスの中で最後に死ぬ運命を担っていて、皆の死を悲しみながらいつまでも生きているしぶとい男だと、クラスじゅうが思っていたことだろう。

最後に出合ったのは、これも死んでしまった日浅敬三君のやった、四国での同級会の帰り、伊丹空港までの飛行機だった。彼は次に来る松本（登山のためである）行きの飛行機に乗り換えるために慌てて、挨拶もできないくらいに走って降りて行った。

彼の住んでいない下北半島には興味はない。私の日本地図から、この半島が消えてしまう悲しみである。

（金山嘉城 記）

◆投稿規定

- (1) 原稿締切り
原稿の締切りは、奇数月の10日までとし、原則として翌月発行の会報に掲載いたします。
- (2) 投稿様式
投稿は原稿用紙に横書きとし、便箋などの使用はご遠慮ください。ワープロ使用の場合は1行16字で設定して下さい。写真はプリントのあったものを、大きいサイズ(2Lなど)で、集合写真のみでなく、スナップなども添えて下さい。
- (3) 投稿字数
 - ① 「すいどうばし」欄(随想、詩、短歌、時評など)は、1編1,200字程度
 - ② 「支部のうごき」は、1,000字程度
 - ③ 「クラス会だより」は、1,000字程度
 - ④ 「追悼」は、500字程度
- (4) ご投稿いただいた原稿は原則として原文のまま掲載いたします。ただし、紙面の都合により加筆削除等願ひすることがありますので、ご了承下さい。
なお、掲載については委員会にご一任いただきます。
- (5) 写真等の返却
写真等は、原則として返却いたしません。が、特に貴重な写真などの場合は、その旨書き添えて下されば返送いたします。

◆へんしゅうこうき

- ★ 今年も残りわずかとなりましたが、皆様の平成14年はいかがでしたでしょうか。年を重ねる毎に月日の経つのが早く感じられるようになりました。個人的には広報委員をやらせていただき巻頭グラビアを担当しているので、同窓大先輩と後輩とおたよりで電話で話を伺うことができ大変嬉しく思っております。また、未掲載学年の方で写真等ご準備いただける場合は、是非ご連絡ください。
- ★ 10月号に同封いたしました女性同窓生の皆様へのアンケートには、100通を超える返信をいただきどうもありがとうございます。現在集計をしておりますが、結果および考察を速やかに報告すると共に皆様の貴重なご意見を今後の誌面に反映していきたいと思ひます。沢山のご意見、中には広報委員会への励まし言葉を追記してくださる方もいらっしゃる心より感謝しております。
- ★ 先日の新聞に「今後10年から15年は今のような経済状態ではないか」とありました。戦後の日本はインフレを前提にして、いずれ借金の重さが軽くなることを当然と考えていました。しかしデフレは相変わらず続いており、これからは少しずつデフレ耐久型に考えを改めようとのこと。歯科界においても少子化の世の中の中で歯科医師数は増加の一途をたどり、深刻な事態になることが予測され、その対策を早急にとる必要があると思われます。最後になりますが、皆様よいお年をお迎えください。(尾崎圭子)

広報部委員会

広報担当理事 大井基道

委員長 小林伯男 副委員長 角田正健、林 量一

委員 野村 淳、黒澤珍介、白田 準、三友和夫、尾崎圭子

平成14年12月20日 印刷

平成14年12月25日 発行

東京歯科大学同窓会会報 第331号

同窓会ホームページアドレス

<http://www.tdc-alumni.jp>

発行人

編集人

大 井 基 道

小 林 伯 男

東京歯科大学同窓会

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-9-18

電 話 (03) 5275-1761

FAX (03) 3264-4859

印刷所

一世印刷株式会社

〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22

電 話 (03) 3952-5651 (代)

平成14年度 評議員会・定時総会議案書

平成14年11月16日

於 赤坂プリンスホテル

平成14年度 東京歯科大学同窓会評議員会

(午前10時00分～午後3時00分)

1. 開 会 の 辞

1. 点 呼

1. 会 長 挨 拶

1. 来 賓 挨 拶

1. 議長, 副議長選出

1. 議事録署名人指名

1. 黙 祷

1. 報 告

(1) 平成14年度 会 務 報 告

(2) 平成14年度 会計現況報告

1. 議 事

第1号議案 平成13年度 経常部収支決算

第2号議案 平成13年度 特別会計収支決算
(同窓会基金, 血脇記念基金, 共済基金, 名簿積立金, 退職積立金)

第3号議案 平成13年度 卒後研修セミナー,
卒後研修セミナー積立金, 卒後研修
セミナー25周年記念事業収支決算

第4号議案 平成13年度 財 産 目 録
(監 査 報 告)

第5号議案 平成15年度 事 業 計 画

第6号議案 平成15年度 入会金(現行本学出身の会員5,000円, 推薦会員50,000円)

第7号議案 平成15年度 会 費
(現行18,000円)

第8号議案 総合政策費積立金会計について

第9号議案 平成15年度 経常部収支予算

第10号議案 平成15年度 共済負担金
(現行4,000円)

第11号議案 平成15年度 特別会計収支予算
(同窓会基金, 血脇記念基金, 共済基金, 名簿積立金, 退職積立金)

第12号議案 平成15年度 卒後研修セミナー収支予算

第13号議案 平成14年度 名誉会員推薦

1. 協 議

(1) 東京歯科大学同窓会会則一部改正

(2) その他

1. 名 誉 会 員 表 彰 式

1. 叙勲, 褒章受章者顕彰式

1. 閉 会 の 辞

第108回 東京歯科大学同窓会定時総会

(午後3時10分～午後3時50分)

1. 開 会 の 辞

1. 会 長 挨 拶

1. 議長, 副議長選出

1. 議事録署名人指名

1. 報 告

(1) 平成14年度 会 務 報 告

(2) 平成14年度 評議員会報告

(3) 平成15年度 経常部, 特別会計, 卒後研修
セミナー収支予算

1. 議 事

第1号議案 平成13年度 経常部収支決算

第2号議案 平成13年度 特別会計収支決算

(同窓会基金, 血脇記念基金, 共済基金, 名簿積立金, 退職積立金)

第3号議案 平成13年度 卒後研修セミナー, 卒後研修セミナー積立金, 卒後研修セミナー25周年記念事業収支決算

第4号議案 平成13年度 財産目録 (監査報告)

1. 協議
(1) 東京歯科大学同窓会会則一部改正
(2) その他
1. 閉会の辞

平成14年度東京歯科大学同窓会会務報告

自 平成13年10月1日
至 平成14年9月30日

1. 現在会員数 9,082名
内

名誉会長 1名
名誉会員 36名
共済免除会員 524名
高齢会員 534名
不明会員 701名

2. 会員の移動

新入会員 135名
〔本年度卒業生 128名〕
〔他 7名〕

逝去会員 120名
退会会員 1名

3. 会議

評議員会 1回
定時総会 1回
理事会 7回
常任理事会 4回
監査会 1回
役員連絡会 13回
各種委員会 117回
卒後研修セミナー 8回
東歯関係日歯役員・代議員,
同窓会役員懇談会 2回
全国歯科大学同窓・校友会懇話会 2回
地域支部連合会主催学術講演会等 6回
学術講演会講師派遣 20回

4. 役員出張 52回 (91名)

5. 支部数 110支部

6. 地域支部連合会数 11地域支部連合会

北海道地域, 東北地域, 関東地域, 東京地域, 信越地域, 東海地域, 北陸地域, 近畿地域, 中国地域, 四国地域, 九州地域

7. 会務報告

平成13年

10月3日(水) 学術部委員会 (運営委員会)
5日(金) 渉外部委員会 (第1小委員会)
11日(木) 学術部委員会 (プログラム委員会)
12日(金) 広報部委員会 (会報企画)
13日(土) 東京医科歯科大学歯科同窓会創立70周年記念式典・祝宴 金子副会長出席
15日(月) 学術部委員会 (企画委員会)
17日(水) 学術部委員会 (運営委員会)
18日(木) 学術部委員会 (運営委員会)
19日(金) 学術部委員会 (研究委員会)
20日(土) 島根県支部総会
学術講演会 講師・石上恵一教授 (母校)
20日(土) 九州地域支部連合会総会 (大分県支部担当) 澤田理事, 高原監事出席
20日(土) 九州地区支部長会 高原監事出席
20日(土) 第4回理事会
20日(土) 保険対策委員会
20日(土) 三重県支部学術講演会
講師・櫻井 薫教授 (母校)
21日(日) 卒後研修セミナー (ベシックセミナー)
21日(日) 東歯祭後夜祭 池田理事出席

22日(月) 学術部委員会(将来像検討小委員会)
 27日(土) 東京地域支部連合会総会
 天野会長、鹿島理事出席
 31日(水) 渉外部委員会(第1)
 11月1日(木) 学術部委員会(運営委員会)
 8日(木) 学術部委員会(プログラム委員会)
 9日(金) 役員連絡会
 10日(土) 第46回全国歯科大学同窓・校友会
 懇話会 池田・寺尾各理事出席
 11日(日) 神奈川県支部連合同窓会学術研修
 会 講師・野間弘康教授(母校)
 12日(月) 役員連絡会
 12日(月) 広報部委員会(会報編集)
 13日(火) 渉外部委員会(第2)
 13日(火) 六歯科大学・歯学部同窓・校友会
 懇談会 天野会長、池田理事出席
 16日(金) 第5回理事会
 17日(土) 平成13年度評議員会・定時総会
 21日(水) 学術部委員会(将来像検討小委員会)
 23日(金) 近畿地域支部連合会総会
 天野会長、大井・荒木各理事出席
 24日(土) 旭川支部学術講演会
 講師・石上恵一教授(母校)
 25日(日) 東信支部総会
 学術講演会 講師・賀来 亨氏
 (北海道医療大学教授)
 27日(火) 城東支部学術講演会
 講師・角田正健助教授(母校)
 30日(金) 学術部委員会(企画委員会)
 12月1日(土) 学術部委員会(研究委員会・ワー
 クショップ)
 1日(土) 熊本県支部総会
 寺尾・澤田各理事出席
 学術講演会 講師・高江洲義矩名
 誉教授(母校)
 1日(土) 愛媛県支部総会
 学術講演会 講師・角田正健助教
 授(母校)
 2日(日) 神奈川県支部連合同窓会総会
 天野会長出席
 2日(日) 岐阜県支部総会

2日(日) 卒後研修セミナー(ベーシックセミナー)
 3日(月) 学術部委員会(プログラム委員会)
 4日(火) 広報部委員会(会報企画)
 7日(金) 学術部委員会(全体委員会)
 7日(金) 日本橋支部総会 大井理事出席
 8日(土) 山梨県支部総会 大橋副会長出席
 学術講演会 講師・竹居孝二氏
 (岡山大学医学部生化学教授)
 9日(日) 静岡県支部総会 梅村理事出席
 9日(日) 茨城県支部総会 高橋理事出席
 9日(日) 栃木県支部総会 渡辺理事出席
 学術講演会 講師・青柳文男氏
 (宇都宮市立西小学校教諭)
 9日(日) 千葉県支部総会 天野会長出席
 学術講演会 講師・平井泰行氏
 (日歯常務理事)
 9日(日) 愛知県支部総会
 学術講演会 講師・愛知県支部会員
 13日(木) 父兄会役員、大学幹部との懇談会
 天野会長出席
 17日(月) 大学支部総会 浅井監事出席
 17日(月) 情報委員会
 18日(火) 学術部委員会(企画委員会)
 22日(土) 第6回理事会
 平成14年
 1月9日(水) 千代田支部新年会 大井理事出席
 11日(金) 芝支部総会・新年懇親会
 天野会長出席
 11日(金) 広報部委員会(会報編集)
 12日(土) 日本大学歯学部同窓会新年会
 天野会長、梅田副会長出席
 13日(日) 東京医科歯科大学歯科同窓会新年
 名刺交換会 天野会長出席
 15日(火) 学術部委員会(運営委員会)
 18日(金) 学術部委員会(企画委員会)
 19日(土) 第1回理事会
 19日(土) 広島県支部総会 鈴木副会長出席
 学術講演会 講師 平井泰行氏
 (日歯常務理事)
 19日(土) 東京地域支部連合会新年交歓会
 天野会長出席

23日(水)	学術部委員会(運営委員会)				県歯会長と同窓会役員との懇談会
26日(土)	世田谷支部新年会 渡辺理事出席	14日(木)	学術部委員会(全体委員会)		
26日(土)	杉並支部新年会 天野会長出席	22日(金)	学術部委員会(企画委員会)		
26日(土)	役員連絡会(学術)	23日(土)	新入会員オリエンテーション		
30日(水)	浅草・下谷支部合同新年会 池田専務理事出席		安藤・高橋(義)・天野各理事出席		
30日(水)	学術部委員会(プログラム委員会)	25日(月)	第107回東京歯科大学卒業証書授与式	天野会長列席	
2月2日(土)	第11回全国歯科大学同窓・校友会 学術担当者連絡会	25日(月)	学術部委員会(プログラム委員会)		
6日(水)	学術部委員会	30日(土)	第2回理事会		
8日(金)	広報部委員会(会報企画)	4月1日(月)	学術部委員会(運営委員会)		
11日(月)	埼玉県支部新年会 金子副会長出席	4日(木)	東京歯科大学歯科衛生士専門学校 入学式 池田専務理事列席		
12日(火)	学術部委員会(運営委員会)	5日(金)	東京歯科大学入学式		
13日(水)	第1回常任理事会		天野会長, 鈴木副会長, 高原監事 列席		
14日(木)	役員連絡会(会計)	6日(土)	渉外部委員会(保険対策委員会)		
16日(土)	北多摩支部総会 大井理事出席	11日(木)	広報部委員会(会報企画)		
17日(日)	三重県支部総会 渡辺理事出席	13日(土)	学術部委員会(研修会)		
19日(火)	役員連絡会(学術, 広報, 情報)	15日(月)	情報委員会		
22日(金)	学術部委員会(運営委員会)	17日(水)	第2回常任理事会		
25日(月)	学術部委員会(プログラム委員会)	19日(金)	学術部委員会(プログラム委員会)		
25日(月)	役員連絡会(渉外)	20日(土)	宮城県支部総会 安藤理事出席		
27日(水)	学術部委員会(企画委員会)		学術講演会 講師・花岡洋一講師 (母校)		
27日(水)	保険対策委員会(前委員)	20日(土)	山形県支部総会 高橋(義)理事出席		
3月1日(金)	東京歯科大学ワークショップ 天野会長, 金子・鈴木各副会長, 池田専務理事, 高橋(義)・大井各 理事出席		学術講演会 講師・野間弘康教授 (母校)		
1日(金)	役員連絡会(学術, 広報, 情報)	22日(月)	学術部委員会(運営委員会)		
4日(月)	学術部委員会(運営委員会)	22日(月)	渉外部委員会(保険対策委員会)		
5日(火)	役員連絡会(総務, 学術)	24日(水)	監査会 高原・大橋・野間各監事出席 (立会人: 天野会長, 金子副会長, 池田専務理事, 渡辺・矢崎各理事)		
8日(金)	第52回東京歯科大学歯科衛生士専 門学校卒業証書授与式 金子副会長, 池田専務理事列席	25日(木)	学術部委員会(企画委員会)		
9日(土)	学術部委員会(連絡会)	5月1日(水)	学術部委員会(運営委員会)		
9日(土)	青森県支部総会 渡辺理事出席 学術講演会 講師・山根源之教授 (母校)	8日(水)	学術部委員会(学術情報研究委員会)		
11日(月)	広報部委員会(会報編集)	9日(木)	ゴルフ委員会		
11日(月)	学術部委員会(運営委員会)	10日(金)	役員連絡会(会長, 副会長, 専務 理事)		
13日(水)	東歯関係日歯役員・代議員, 都道府	11日(土)	四国地域支部連合会総会(愛媛県		

- 支部担当)
天野会長、池田専務理事、久保田
理事出席
学術講演会 講師・奥田克爾教授
(母校)
- 13日(月) 広報部委員会(会報編集)
- 13日(月) 学術部委員会(運営委員会)
- 14日(火) 会則検討委員会
- 18日(土) 第3回理事会
- 20日(月) 情報委員会
- 22日(水) 渋谷支部総会 大井理事出席
- 23日(木) 学術部委員会(学術情報研究委員会)
- 25日(土) 学術部委員会(研修会)
- 25日(土) 福島県支部総会
池田専務理事出席
学術講演会 講師・安達 康教授
(母校)
- 25日(土) 卒後研修セミナー(臨床実技セ
ミナー(講演))
- 26日(日) 卒後研修セミナー(臨床実技セ
ミナー(実習))
- 27日(月) 学術部委員会(運営委員会)
- 29日(水) 学術部委員会(プログラム委員会)
- 30日(木) 学術部委員会(運営委員会)
- 6月1日(土) 福岡県支部総会
池田専務理事出席
- 5日(水) 共済検討委員会
- 6日(木) 役員連絡会(総務、会計)
- 7日(金) 学術部委員会(運営委員会)
- 10日(月) 渉外部委員会(保険対策委員会)
- 11日(火) 広報部委員会(会報企画)
- 15日(土) 第47回全国歯科大学同窓・校友会
懇話会
梅田副会長、池田専務理事、渡辺
理事出席
- 18日(火) 学術部委員会(運営委員会)
- 19日(水) 第3回常任理事会
- 20日(木) ゴルフ委員会
- 20日(木) 東京地域支部連合会学術講演会
講師・中川種昭氏(慶応義塾大学
医学部歯科口腔外科学教室教授)
- 22日(土) 東北地域支部連合会総会(秋田県
支部担当)
天野会長、渡辺・鈴木各理事出席
学術講演会 講師・井上 孝教授
(母校)
- 22日(土) 信越地域支部連合会総会(新潟県
支部担当)
金子副会長、池田専務理事、小池
理事出席
学術講演会 講師・齋藤 力氏
(新潟大学顎顔面再建学講座教授)
- 22日(土) 九州地域支部連合会支部長会
澤田理事出席
- 22日(土) 学術部委員会(企画委員会)
- 22日(土) 卒後研修セミナー(臨床実技セ
ミナー(講演・実習))
- 23日(日) 卒後研修セミナー(臨床実技セ
ミナー(実習))
- 24日(月) 学術部委員会(プログラム委員会)
- 25日(火) 渉外部委員会(第1)
- 26日(水) 学術部委員会(学術情報研究委員会)
- 30日(日) 愛知県支部学術講演会
講師・宮地建夫氏(東京都開業)
- 7月5日(金) 共済検討委員会
- 5日(金) 役員連絡会(総務、会計)
- 6日(土) 群馬県支部総会
池田専務理事出席
学術講演会 講師・山口秀晴教授
(母校)
- 6日(土) 川崎支部学術講演会 講師・内山
健志教授(母校)
- 7日(日) 埼玉県支部総会 天野会長出席
学術講演会 講師・一戸達也教授
(母校)
- 10日(水) 会則検討委員会
- 11日(木) 渉外部委員会(保険対策委員会)
- 11日(木) 広報部委員会(会報編集)
- 11日(木) 学術部委員会(運営委員会)
- 12日(金) 情報委員会
- 13日(土) 岡山県支部学術講演会
講師・押見 一氏(東京都開業)

16日(火)	役員連絡会(専務理事, 学術)	学術講演会 講師・梅田昭夫氏 (日歯専務理事)
17日(水)	学術部委員会(運営委員会)	
17日(水)	第4回常任理事会	7日(土) 長野県連合会総会 高橋(義) 理事出席
18日(木)	学術部委員会(学術情報研究委員会)	学術講演会 講師・一戸達也教授 (母校)
25日(木)	学術部委員会(企画委員会)	8日(日) 卒後研修セミナー(ベーシックセミナー)
29日(月)	渉外部委員会(保険対策委員会)	8日(日) 東海地域支部連合会総会(岐阜県 支部担当)
29日(月)	学術部委員会(プログラム委員会)	天野会長, 梅村・寺本各理事出席
29日(月)	学術部委員会(運営委員会)	学術講演会 講師・磯部 勲氏 (美濃流し仁輪加連盟会長)
8月1日(木)	ゴルフ委員会(実行委員会)	10日(火) 広報部委員会(会報編集)
1日(木)	学術部委員会(運営委員会)	11日(水) 東海関係日歯役員・代議員, 都道府 県歯会長と同窓会役員との懇談会
5日(月)	学術部委員会(学術情報研究委員会)	13日(金) 父兄会役員と同窓会役員との歯科 臨床研修医に関する打合せ会(於 千葉病院)
8日(木)	会則検討委員会	池田専務理事, 渡辺・高橋(義)・ 天野各理事出席
16日(金)	学術部委員会(プログラム委員会)	17日(火) 役員連絡会(総務, 会計)
17日(土)	北海道地域支部連合会総会(札幌 支部担当)	18日(水) 共済検討委員会
	天野会長, 池田専務理事, 藤森理 事出席	19日(木) 学術部委員会(学術情報研究委員会)
19日(月)	学術部委員会(企画委員会)	20日(金) 学術部委員会(プログラム委員会)
20日(火)	学術部委員会(運営委員会)	21日(土) 第4回理事会
21日(水)	学術部委員会(研修会)	24日(火) 学術部委員会(運営委員会)
23日(金)	学術部委員会(プログラム委員会)	24日(火) 情報委員会
26日(月)	広報部委員会(会報企画)	25日(水) 板橋支部学術講演会 講師・河奈裕正氏(慶応義塾大学 医学部歯科口腔外科学教室助手)
26日(月)	学術部委員会(運営委員会)	26日(木) 学術部委員会(学術情報研究委員会)
28日(水)	会則検討委員会	26日(木) 渉外部委員会(保険対策委員会)
30日(金)	渉外部委員会(第1小委員会)	27日(金) 学術部委員会(運営委員会)
31日(土)	渉外部委員会(保険対策委員会)	29日(日) 卒後研修セミナー(ベーシックセミナー)
31日(土)	学術部委員会(全体委員会)	29日(日) 滋賀県支部総会 学術講演会 講師・金子 譲教授 (母校)
9月4日(水)	渉外部委員会(社会保険指導者情 報交換会)	30日(月) 学術部委員会(プログラム委員会)
4日(水)	情報委員会	
5日(木)	第31回同窓会主催全国ゴルフ大会	
6日(金)	渉外部委員会(保険対策委員会)	
6日(金)	学術部委員会(28校学術連絡会, 準備会)	
7日(土)	関東地域支部連合会総会(群馬県 支部担当)	
	天野会長, 高原監事, 久保木理事 出席	

平成13年10月1日より平成14年9月30日までに逝去された会員は次のとおりです。

(敬称略)

旭川	佐藤 定行	江戸川	伊能 宏	群馬	斉藤 元邦	福島	森合 通雄
埼玉	丸田 省吾	和歌山	南條 準之介	四谷	富取 敏光	北信	桐原 成光
札幌	星井 博	愛知	鈴木 郁夫	栃木	村井 寛憲	蒲田	鈴木 巖
愛知	加藤 三三	渋谷	高木 稔	京都	山崎 幸一	福島	須藤 正和
群馬	大川 政和	北多摩	荒川 英男	茨城	太田 満	神奈川	高橋 信吾
青森	清藤 三津郎	千葉	榎 智光	中野	田上 金雄	群馬	服部 久夫
兵庫	矢野 善昭	群馬	磯 誠三	静岡	田中 唯夫	埼玉	浅尾 進一郎
新潟	横尾 弥	鳥取	西川 利	丸の内	早速 晴雄	茨城	櫻井 智司
中信	松森 正義	南信	佐々木 進	福島	小汲 英夫	千葉	布留川 進
群馬	笠原 武男	埼玉	五十嵐 完治	兵庫	中島 禎次郎	北信	小山 敏雄
広島	菅 地 億	埼玉	渋谷 満	福島	国分 敏郎	静岡	河野 公則
千葉	齋藤 弘	新潟	小島井 郁夫	下谷	亀井 利男	京都	山下 勲
愛媛	高岡 聖	苫小牧	杉村 力男	大森	吉枝 清徳	茨城	松崎 君雄
新潟	宮野 昇平	福井	篠山 幹一	横浜中央	丸森 賢二	新潟	勝井 健介
群馬	近藤 廣夫	札幌	渡部 秀男	岡山	測野 政尚	兵庫	富岡 純一
栃木	村上 晋三	杉並	福武 公雄	福島	水口 栄	石川	柴田 勇夫
新潟	小林 一彦	横浜中央	藤田 成孝	石川	山本 二夫	京都	建部 廣守
大森	佐野 兵吾	愛媛	高岡 宏	千葉	白井 泉	愛知	彦坂 武
山梨	兼松 猛	浅草	本山 周次	大阪	浅野 正男	群馬	中嶋 義雄
千代田	加藤 亮之輔	福島	潤田 和好	京都	中村 鉄男	旭川	盆子原 房教
目黒	山邊 知己	茨城	清水 源	群馬	山川 祐市	千葉	小峯 久幸
札幌	斉藤 庄司	板橋	三澤 栄治	青森	松島 静吾	兵庫	西村 隆夫
愛媛	原 達也	北信	高藤 道治	杉並	矢嶋 和重	日本橋	櫻井 裕
広島	山内 啓壮	空知	新井 謙澄	練馬	佐藤 心一	沖縄	高嶺 長二
愛知	勝野 治雄	滋賀	曾我 太	札幌	澤田 清孚	愛知	尾崎 博
千葉	相沢 甲正	千葉	阿左見 孝	下谷	坂 寛	岡山	大瀧 出雲
日本橋	天野 博徳	麻布赤坂	兼松 隆徳	海外	長橋 潔	小石川	下江 信一
宮城	岩渕 武介	横浜西部	若葉 一郎	渋谷	清河 慶祥	海外	王 冠烈
南信	牛木 実	千葉	大内 英男	札幌	山口 三郎	広島	原田 保
愛知	前岡 弘	荏原	青柳 文雄	静岡	大藤 幸雄	札幌	山田 幸宏

(届出順 以上 120名)

平成14年度東京歯科大学同窓会厚生部報告

(自 平成13年10月1日 至 平成14年9月30日)

1. 火災、災害による罹災会員に共済規程第6条第1項二号に基づき罹災共済金（見舞金）を贈呈した会員は次のとおりです。

愛媛県支部	高岡 裕司氏（平 3 卒）	火災により住宅兼診療所被害 罹災共済金 平成14年3月29日贈呈
-------	---------------	-------------------------------------

山形県支部	五十嵐 寛氏（昭 61 卒）	火災により住宅兼診療所被害 罹災共済金 平成14年6月17日贈呈
-------	----------------	-------------------------------------

以上 2名

2. 共済規程第6条第1項一号に基づき弔慰金を贈呈した逝去会員は次のとおりです。

(敬称略)

板橋	町田 敏久	大阪	富山 貫造	大森	徳植 清祐	神奈川	高橋 忠興
愛知	原 恒夫	福岡	岡本 富樹	千葉	久保田 正義	旭川	佐藤 定行
江戸川	伊能 宏	群馬	斉藤 元邦	福島	森合 通雄	埼玉	丸田 省吾
和歌山	南條 準之介	四谷	富取 敏光	北信	桐原 成光	札幌	星井 博
愛知	鈴木 郁夫	栃木	村井 寛憲	蒲田	鈴木 巖	渋谷	高木 稔
京都	山崎 幸一	福島	須藤 正和	群馬	大川 政和	北多摩	荒川 英男
茨城	太田 満	神奈川	高橋 信吾	青森	清藤 三津郎	千葉	榎 智光
中野	田上 金雄	群馬	服部 久夫	兵庫	矢野 善昭	群馬	磯 誠三
埼玉	浅尾 進一郎	新潟	横尾 弥	鳥取	西川 利	丸の内	早速 晴雄
茨城	櫻井 智司	中信	松森 正義	南信	佐々木 進	福島	小汲 英夫
千葉	布留川 進	群馬	笠原 武男	埼玉	五十嵐 完治	兵庫	中島 慎次郎
北信	小山 敏雄	広島	菅 地 億	埼玉	渋谷 満	福島	国分 敏郎
静岡	河野 公則	新潟	小船井 郁夫	下谷	亀井 利男	京都	山下 勲
愛媛	高岡 聖	苫小牧	杉村 力男	大森	吉枝 清徳	茨城	松崎 君雄
新潟	宮野 昇平	福井	篠山 幹一	横浜中央	丸森 賢二	新潟	勝井 健介
群馬	近藤 廣夫	札幌	渡部 秀男	岡山	淵野 政尚	兵庫	富岡 純一
栃木	村上 晋三	杉並	福武 公雄	福島	水口 栄	石川	柴田 勇夫
新潟	小林 一彦	横浜中央	藤田 成孝	石川	山本 二夫	京都	建部 廣守
大森	佐野 兵吾	愛媛	高岡 宏	千葉	白井 泉	愛知	彦坂 武
山梨	兼松 猛	浅草	本山 周次	大阪	浅野 正男	群馬	中嶋 義雄
千代田	加藤 亮之輔	福島	潤田 和好	京都	中村 鉄男	旭川	盆子原 房教
茨城	清水 源	群馬	山川 祐市	札幌	斉藤 庄司	板橋	三澤 栄治
青森	松島 静吾	兵庫	西村 隆夫	愛媛	原 達也	北信	高藤 道治
杉並	矢嶋 和重	日本橋	櫻井 裕	広島	山内 啓壮	空知	新井 謙澄
沖縄	高嶺 長二	愛知	勝野 治雄	滋賀	曾我 太	札幌	澤田 清孚
愛知	尾崎 博	千葉	相沢 甲正	千葉	阿左見 孝	下谷	坂 寛
岡山	大瀧 出雲	日本橋	天野 博徳	麻布赤坂	兼松 隆徳	小石川	下江 信一
宮城	岩淵 武介	横浜西部	若葉 一郎	広島	原田 保	愛知	前岡 弘
静岡	大藤 幸雄						

(届出順 以上 113名)

第1号議案

平成13年度 東京歯科大学同窓会

経常部収支決算書

(自 平成13年1月1日)
(至 平成13年12月31日)

(収入の部)

△印 = 予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
	円	円	円	%	
会 費	125,730,000	125,460,500	269,500	99.8	昭和40～42年度 1,200円× 6人
					昭和43～47年度 1,700円× 12人
					昭和48年度 3,200円× 2人
					昭和49年度 3,500円× 3人
					昭和50年度 6,000円× 3人
					昭和51年度 7,000円× 4人
					昭和52年度 8,000円× 5人
					昭和53年度 8,000円× 9人
					昭和54年度 8,000円× 6人
					昭和55年度 10,000円× 6人
					昭和56年度 10,000円× 6人
					昭和57年度 10,000円× 7人
					昭和58年度 12,000円× 8人
					昭和59年度 12,000円× 13人
					昭和60年度 12,000円× 10人
					昭和61年度 12,000円× 12人
					昭和62年度 12,000円× 12人
					昭和63年度 14,000円× 14人
					平成元年度 14,000円× 22人
					平成2年度 14,000円× 21人
					平成3年度 14,000円× 19人
					平成4年度 14,000円× 12人
					平成5年度 14,000円× 19人
					平成6年度 14,000円× 28人
					平成7年度 14,000円× 35人
					平成8年度 14,000円× 51人
					平成9年度 14,000円× 60人
					平成10年度 14,000円× 99人
					平成11年度 20,000円× 163人
					平成11年度 6,000円× 666人
					平成11年度 14,000円× 6人
					平成12年度 20,000円× 769人
					平成13年度 20,000円× 4,816人
					過年度分(平成11年度以前分) 1,339人 13,760,500
					過年度分(平成12年度分) 769人 15,380,000
					当年度分(平成13年度分) 4,816人 96,320,000
					合 計 6,924人 125,460,500
入 会 金	760,000	740,000	20,000	97.4	新卒者 115人× 5,000=575,000 推薦会員 3人× 50,000=150,000 3人× 5,000= 15,000
雑 収 入	2,110,000	1,998,873	111,127	94.7	
前年度繰越金	13,550,000	25,223,252	△11,673,252	186.1	東京三菱普通 7,768,646 東京三菱定期 10,500,000 三崎町郵便局普通 6,954,606
合 計	142,150,000	153,422,625	△11,272,625	107.9	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
事 務 費	46,840,000	41,698,338	5,141,662	89.0	
給 与 費	33,370,000	30,774,510	2,595,490	92.2	事務職員 5 名
福 利 厚 生 費	590,000	223,847	366,153	37.9	会務遂行中の役員等の傷害保険料を含む
通 信 費	1,770,000	1,756,052	13,948	99.2	
印 刷 費	2,000,000	1,466,449	533,551	73.3	試験問題集（当年分）作成料を含む
備 品 購 入 費	800,000	616,728	183,272	77.1	
消 耗 品 費	300,000	297,665	2,335	99.2	
集 金 手 数 料	5,660,000	5,090,800	569,200	89.9	
保守管理委託費	1,750,000	926,100	823,900	52.9	
雑 費	600,000	546,187	53,813	91.0	
事 業 費	75,250,000	64,611,575	10,638,425	85.9	
旅 費 交 通 費	22,650,000	19,922,890	2,727,110	88.0	
総 務 関 係 費	2,240,000	1,149,200	1,090,800	51.3	ホームページ保守管理費を含む
広 報 関 係 費	19,960,000	16,068,010	3,891,990	80.5	会報年間 6 回発行
渉 外 費	11,980,000	10,179,226	1,800,774	85.0	
学 術 研 修 費	6,060,000	5,926,363	133,637	97.8	
会 合 費	850,000	489,536	360,464	57.6	各種委員会
交 際 費	8,630,000	8,741,990	△ 111,990	101.3	
慶 弔 費	2,210,000	1,879,445	330,555	85.0	
雑 費	670,000	254,915	415,085	38.0	
会 議 費	3,940,000	3,753,776	186,224	95.3	
役 員 会 費	240,000	262,697	△ 22,697	109.5	理事会 6 回・常任理事会 5 回
評 議 員 会・総 会 費	3,500,000	3,267,996	232,004	93.4	平成13年11月17日開催
支 部 長 会 費	100,000	0	100,000	0.0	
雑 費	100,000	223,083	△ 123,083	223.1	
特別会計繰入金	7,860,000	7,840,000	20,000	99.7	
同 窓 会 基 金	760,000	740,000	20,000	97.4	
血 脇 記 念 基 金	100,000	100,000	0	100.0	
名 簿 積 立 金	5,000,000	5,000,000	0	100.0	
退 職 積 立 金	2,000,000	2,000,000	0	100.0	
予 備 費	8,260,000	0	8,260,000	0.0	
支 出 計	142,150,000	117,903,689	24,246,311	82.9	
次 年 度 繰 越 金	—	35,518,936	△35,518,936	0.0	東京三菱普通 8,418,920 東京三菱定期 25,500,000 三崎町郵便局普通 1,600,016
合 計	142,150,000	153,422,625	△11,272,625	107.9	

第2号議案

平成13年度 東京歯科大学同窓会

同窓会基金収支決算書

(自 平成13年1月1日
至 平成13年12月31日)

(収入の部)

△印=予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
繰 入 金	760,000	740,000	20,000	97.4	経常部より繰入
雑 収 入	30,000	22,648	7,352	75.5	利息 9,760 収益配当金 12,888
前年度繰越金	20,630,000	20,759,159	△ 129,159	100.6	
合 計	21,420,000	21,521,807	△ 101,807	100.5	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
次年度繰越金	21,420,000	21,521,807	△ 101,807	100.5	東京三菱普通 40,112 東京三菱定期 9,304,800 安田貸付信託 12,150,000 安田金銭信託 26,895
合 計	21,420,000	21,521,807	△ 101,807	100.5	

平成13年度 東京歯科大学同窓会

血脇記念基金収支決算書

(自 平成13年1月1日
至 平成13年12月31日)

(収入の部)

△印=予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
繰 入 金	100,000	100,000	0	100.0	経常部より繰入
雑 収 入	10,000	2,936	7,064	29.4	利息 2,936
前年度繰越金	2,890,000	2,891,421	△ 1,421	100.0	
合 計	3,000,000	2,994,357	5,643	99.8	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
次年度繰越金	3,000,000	2,994,357	5,643	99.8	東京三菱普通 94,357 東京三菱定期 2,900,000
合 計	3,000,000	2,994,357	5,643	99.8	

平成13年度 東京歯科大学同窓会
共済基金収支決算書

(自 平成13年1月1日)
(至 平成13年12月31日)

(収入の部)

△印 = 予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
	円	円	円	%	
共 済 負 担 金	29,490,000	26,776,000	2,714,000	90.8	昭和40年度～42年度 300円× 6人 昭和43年度～48年度 800円× 14人 昭和49年度～51年度 1,500円× 10人 昭和52年度～53年度 2,000円× 14人 昭和54年度～55年度 3,000円× 12人 昭和56年度～平成9年度 4,000円× 375人 平成10年度 4,000円× 106人 平成11年度 4,000円× 184人 平成12年度 4,000円× 816人 平成13年度 4,000円× 5,190人 計 6,727人 過年度分(平成11年度以前分) (721人) 2,752,000 過年度分(平成12年度分) (816人) 3,264,000 当年度分(平成13年度分) (5,190人) 20,760,000 計 (6,727人) 26,776,000
雑 収 入	300,000	122,125	177,875	40.7	利息
前年度繰越金	113,370,000	119,294,143	△ 5,924,143	105.2	東京三菱定期 104,000,000 安田貸付信託 3,450,000 東京三菱普通 11,641,230 安田金銭信託 202,913
合 計	143,160,000	146,192,268	△ 3,032,268	102.1	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
	円	円	円	%	
共 済 金	28,000,000	22,830,000	5,170,000	81.5	弔慰共済金 22,400,000 (@200,000×112件) 罹災共済金 430,000 集中豪雨による住宅・診療所浸水 1件 70,000 住宅火災 1件 70,000 震予地震 5件 290,000
事 務 費	180,000	150,170	29,830	83.4	弔慰共済金・罹災共済金送料等
予 備 費	6,000,000	0	6,000,000	0.0	
給付準備金	108,980,000	0	108,980,000	0.0	
次年度繰越金	—	123,212,098	△123,212,098	0.0	東京三菱普通 7,555,735 安田貸付信託 3,450,000 東京三菱定期 112,000,000 安田金銭信託 206,363
合 計	143,160,000	146,192,268	△ 3,032,268	102.1	

平成13年度 東京歯科大学同窓会
名簿積立金収支決算書

(自 平成13年1月1日)
(至 平成13年12月31日)

(収入の部)

△印 = 予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対比	摘 要
繰 入 金	円 5,000,000	円 5,000,000	円 0	% 100.0	経常部より繰入
雑 収 入	10,000	8,700	1,300	87.0	利息 8,700
前年度繰越金	7,390,000	7,241,532	148,468	98.0	
合 計	12,400,000	12,250,232	149,768	98.8	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対比	摘 要
通 信 費	円 0	円 15,168	△ 円 15,168	% 0.0	平成11年度版会員名簿発送 28件
次年度繰越金	12,400,000	12,235,064	164,936	98.7	東京三菱普通 35,064 東京三菱定期 12,200,000
合 計	12,400,000	12,250,232	149,768	98.8	

平成13年度 東京歯科大学同窓会
退職積立金収支決算書

(自 平成13年1月1日)
(至 平成13年12月31日)

(収入の部)

△印 = 予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対比	摘 要
繰 入 金	円 2,000,000	円 2,000,000	円 0	% 100.0	経常部より繰入
雑 収 入	30,000	24,406	5,594	81.4	利息 24,406
前年度繰越金	16,130,000	16,130,080	△ 80	100.0	
合 計	18,160,000	18,154,486	5,514	100.0	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対比	摘 要
次年度繰越金	円 18,160,000	円 18,154,486	円 5,514	% 100.0	東京三菱普通 154,486 東京三菱定期 18,000,000
合 計	18,160,000	18,154,486	5,514	100.0	

第3号議案

平成13年度 東京歯科大学同窓会
卒後研修セミナー収支決算書(第26年次)

(自 平成13年1月1日
至 平成13年12月31日)

(収入の部)

△印=予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
	円	円	円	%	
受 講 料	12,650,000	15,497,000	△ 2,847,000	122.5	1. 臨床セミナー ①〔受講割引券なし〕 A1「MTMの実際」一般 70,000×31人 2,170,000 A2「根管形成のコンセンサス」 一般 44,000×31人 1,364,000 スタッフ 15,000×1人 15,000 A3「フラップオペレーションの実技」 一般 15,000×8人 120,000(1日間) 一般 60,000×50人 3,000,000(3日間) ②〔受講割引券あり〕 A1「MTMの実際」一般 68,000×33人 2,244,000 A2「根管形成のコンセンサス」 一般 42,000×34人 1,428,000 A3「フラップオペレーションの実技」 一般 13,000×12人 156,000(1日間) 一般 58,000×38人 2,204,000(3日間) ①+② 計 12,701,000 2. ベーシックセミナー ①〔受講割引券なし〕 B1「ブラッシングと口腔内写真」 一般 16,000×13人 208,000 スタッフ 11,000×30人 330,000 B2「スケーリング・ルートプレーニングとシャープニング」 一般 16,500×16人 264,000 スタッフ 11,500×28人 322,000 B3「ブリッジの形成からテンポラリーまで」 一般 16,000×35人 560,000 ②〔受講割引券あり〕 B1「ブラッシングと口腔内写真」 一般 14,000×7人 98,000 スタッフ 9,000×20人 180,000 B2「スケーリング・ルートプレーニングとシャープニング」 一般 14,500×12人 174,000 スタッフ 9,500×24人 228,000 B3「ブリッジの形成からテンポラリーまで」 一般 14,000×11人 154,000 スタッフ 9,000×11人 99,000 ①+② 計 2,617,000 3. 卒研セミナー ①〔受講割引券なし〕 C1「私の訪問歯科診療」一般 5,000×18人 90,000 C2「歯科医療におけるIT革命とは」 一般 3,000×17人 51,000 ②〔受講割引券あり〕 C1「私の訪問歯科診療」一般 3,000×11人 33,000 C2「歯科医療におけるIT革命とは」 一般 1,000×5人 5,000 利息 2,997 ①+② 計 179,000 合 計 15,497,000
雑 収 入	10,000	2,997	7,003	30.0	
繰 入 金	2,680,000	2,680,000	0	100.0	
前年度繰越金	2,500,000	2,303,409	196,591	92.1	
合 計	17,840,000	20,483,406	△ 2,643,406	114.8	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
事 業 費	円 16,180,000	円 12,465,243	円 3,714,757	% 77.0	
講 師 謝 礼 費	2,660,000	2,523,675	136,325	94.9	ベシックスセミナー・臨床セミナー等講師謝礼
資 料 作 成 費	420,000	247,800	172,200	59.0	
実 習 器 材 費	1,660,000	1,338,129	321,871	80.6	実習用骨代・滅菌針等
役 務 費	390,000	189,000	201,000	48.5	
研 究 開 発 費	70,000	0	70,000	0.0	
設 営 費	1,000,000	423,926	576,074	42.2	
旅 費 交 通 費	5,010,000	6,078,460	△ 1,068,460	121.3	講師旅費、各種委員会等旅費
印 刷 広 報 費	900,000	645,826	254,174	71.8	
受 講 証 関 係 費	100,000	112,917	△ 12,917	112.9	
会 議 費	1,570,000	509,660	1,060,340	32.5	会議食事代
広 告 費	1,900,000	395,850	1,504,150	20.8	
渉 外 費	200,000	0	200,000	0.0	
懇 談 会 費	300,000	0	300,000	0.0	
事 務 費	1,250,000	460,317	789,683	36.8	
通 信 運 搬 費	1,110,000	457,545	652,455	41.2	プログラム発送料等
資 材 費	30,000	0	30,000	0.0	
消 耗 品 費	40,000	2,457	37,543	6.1	
雑 費	60,000	315	59,685	0.5	
消 費 税	10,000	0	10,000	0.0	
予 備 費	410,000	0	410,000	0.0	
小 計	17,840,000	12,925,560	4,914,440	72.5	
次年度繰越金	—	7,557,846	△ 7,557,846	0.0	東京三菱普通 4,557,306 東京三菱定期 3,000,000 郵便振替残高 540
合 計	17,840,000	20,483,406	△ 2,643,406	114.8	

平成13年度 東京歯科大学同窓会
卒後研修セミナー積立金収支決算書

(自 平成13年1月1日
至 平成13年12月31日)

(収入の部)

△印=予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対比	摘 要
	円	円	円	%	
前年度繰越金	23,565,968	23,565,968	0	100.0	安田信託銀行普通預金 45,968 安田信託銀行定期預金 23,520,000 ①11,620,000 (満期日13. 2. 26) ②11,900,000 (満期日13.12.18) 安田信託銀行普通預金 利息 32 安田信託銀行定期預金 利息 50,001 卒後研修セミナー25周年記念事業会計より繰入
雑 収 入	0	50,033	△ 50,033	0.0	
繰 入 金	0	131,539	△ 131,539	0.0	
合 計	23,565,968	23,747,540	△ 181,572	100.8	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対比	摘 要
	円	円	円	%	
次年度繰越金	23,565,968	23,747,540	△ 181,572	100.8	安田信託銀行普通預金 127,540 安田信託銀行定期預金 23,620,000 ①11,620,000 (満期日14. 2. 26) ②12,000,000 (満期日14.12.18)
合 計	23,565,968	23,747,540	△ 181,572	100.8	

平成13年度 東京歯科大学同窓会
卒後研修セミナー25周年記念事業収支決算書

(自 平成13年1月1日
至 平成13年12月31日)

(収入の部)

△印=予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対比	摘 要
	円	円	円	%	
雑 収 入	0	1,600	△ 1,600	0.0	利息 1,600
前年度繰越金	1,194,264	1,194,264	0	100.0	
合 計	1,194,264	1,195,864	△ 1,600	100.1	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対比	摘 要
	円	円	円	%	
事 務 費	0	1,064,325	△ 1,064,325	0.0	25周年記念誌発送費
通信運搬費	0	1,064,325	△ 1,064,325	0.0	
繰入金支出	0	131,539	△ 131,539	0.0	
次年度繰越金	1,194,264	0	1,194,264	0.0	次年度繰越金 0 (卒後研修セミナー25周年記念事業会計を終了)
合 計	1,194,264	1,195,864	△ 1,600	100.1	

第4号議案

平成13年度 東京歯科大学同窓会

財 産 目 録

平成13年12月31日

1. 備 品

機 器 備 品

品 目		数量	購入年月	購入価格	備 考
1	宛 名 印 刷 機	1 台	S 51. 8	485,000	
2	応 接 用 テ ー ブ ル	1 脚	H 3.12	137,000	
3	パーソナルコンピューター	1 台	H 6.12	859,020	MAC
4	収 納 戸 棚	3 基	H 9.10	370,650	
5	パーソナルコンピューター	6 台	H 9.12	5,602,275	WIN
6	宛 名 印 刷 機	1 台	H 9.12	1,748,250	
7	書 類 保 管 庫	3 基	H13. 4	370,482	@114,744, @8,750
計 7 品 目				9,572,677	

電 話 加 入 権

品 目		数量	購入年月	購入価格	備 考
1	電 話 加 入 権	2 回線	H 2. 3	149,968	@74,984

消 耗 備 品 費

品 目		数 量	購入価格	備 考
1	冷 蔵 庫 他	49点	2,571,706	

2. 定期預金、普通預金、貸付信託、金銭信託

会 計 区 分	種 類	預金現在高	取 引 銀 行
(1) 経 常 部	定 期 預 金	25,000,000	東京三菱銀行 神保町支店
	〃	500,000	〃 〃
	普 通 預 金	7,417,744	〃 〃
	〃	1,001,176	〃 〃
	通 常 貯 金	1,599,086	三崎町郵便局
	郵便振替残高	930	東京地方郵便局
小 計		35,518,936	
(2) 同 窓 会 基 金	定 期 預 金	9,304,800	東京三菱銀行 神保町支店
	普 通 預 金	40,112	〃 〃
	貸 付 信 託	12,150,000	安田信託銀行 神田支店
	金 銭 信 託	26,895	〃 〃
小 計		21,521,807	
(3) 血 脇 記 念 基 金	定 期 預 金	2,900,000	東京三菱銀行 神保町支店
	普 通 預 金	94,357	〃 〃
小 計		2,994,357	
(4) 共 済 基 金	定 期 預 金	112,000,000	東京三菱銀行 神保町支店
	普 通 預 金	7,555,735	〃 〃
	貸 付 信 託	3,450,000	安田信託銀行 神田支店
	金 銭 信 託	206,363	〃 〃
小 計		123,212,098	
(5) 名 簿 積 立 金	定 期 預 金	12,200,000	東京三菱銀行 神保町支店
	普 通 預 金	35,064	〃 〃
小 計		12,235,064	
(6) 退 職 積 立 金	定 期 預 金	18,000,000	東京三菱銀行 神保町支店
	普 通 預 金	154,486	〃 〃
小 計		18,154,486	
(7) 卒後研修セミナー	定 期 預 金	3,000,000	東京三菱銀行 神保町支店
	普 通 預 金	4,557,306	〃 〃
受講料受取口	〃	0	〃 〃
	郵便振替残高	540	東京地方郵便局
小 計		7,557,846	
(8) 卒後研修セミナー積立金	定 期 預 金	23,620,000	安田信託銀行 神田支店
	普 通 預 金	127,540	〃 〃
小 計		23,747,540	
(9) 卒後研修セミナー25周年記念事業	普 通 預 金	(解約) 0	東京三菱銀行 神保町支店
小 計		(解約) 0	
合 計		244,942,134	

監 査 報 告

平成13年度東京歯科大学同窓会経常部収支決算書，特別会計収支決算書（即ち，同窓会基金決算，血脇記念基金決算，共済基金決算，名簿積立金決算，退職積立金決算），卒後研修セミナー，卒後研修セミナー積立金，卒後研修セミナー25周年記念事業及び財産目録につき諸帳簿，証憑書類を監査した結果適正に処理されていることを認めます。

平成14年4月24日

常任監事 高 原 映 忠 (印)

監 事 大 橋 和 夫 (印)

監 事 野 間 弘 康 (印)

第5号議案

平成15年度事業計画(案)

総務部

(総務関係)

1. 諸会合の準備と調整並びに運営を行う。
2. 会員の入退会の迅速なる確認を行い、かつ会員現況の把握並びに名簿の補充完備を図る。
3. 母校、父兄会、学生との連携を図る。
4. 会則等の見直しを行う。

(情報関係)

1. 母校、支部、クラス会等の情報を収集し、会員に伝達する。
2. ホームページの維持管理を行う。
3. 会員名簿および会費管理データベース化に協力する。
4. 同窓会事務OA化の環境整備を行う。

渉外部

1. 各歯科大学同窓会、校友会との交流を図り、緊密なる友好を深める。
2. 会員の歯科医政関係者との緊密な連携を保ち医政の推進を図る。
3. 母校との連携のもとに国、公、私的機関等と協力し、人材の確保、育成に努める。
4. 社会保険情報の提供と社会保険関係者の交流を図る。

学術部

1. TDC 卒後研修セミナーを開催する。
2. 地域支部連合会、支部における講演会、研修活動を助成する。
3. 各大学の同窓会学術担当者との情報交換を行う。
4. 学術情報の収集、分析および提供を図る。(インターネット等)

広報部

1. 会報を年6回発行し、会員との情報交換を図る。
2. 新入会員名簿、会員住所変更訂正版名簿を出版する。

厚生部

1. 共済制度の健全なる運営を行う。
2. 共済制度の総合的な見直しを行う。
3. 会員厚生事業の充実を図る。

第 6 号議案 平成15年度入会金について(案)

平成15年度 入会金現行通り本学出身の会員5,000円、推薦会員50,000円

第 7 号議案 平成 15 年度 会 費 について(案)

平成15年度 会費現行通り 18,000円

第 8 号議案 総合政策費積立金会計について(案)

第 9 号議案 平成15年度 東京歯科大学同窓会
経 常 部 収 支 予 算(案)

(自 平成15年 1 月 1 日)
(至 平成15年12月31日)

(収 入 の 部) △印 = 前年度予算額に比較し増額の場合

科 目	平成14年度 予 算	平成15年度 予 算 案	前年度との 比 較	対比	摘 要
	円	円	円	%	
会 費	114,000,000	115,660,000	△ 1,660,000	101.5	過年度分 (平成13年度以前分) 650人 10,000,000 過年度分 (平成14年度分) 870人 15,660,000 当年度分 (平成15年度分) 5,000人 90,000,000 合 計 6,520人 115,660,000
入 会 金	740,000	740,000	0	100.0	新卒者 5,000円×128人 その他 50,000円× 2 人
雑 収 入	2,110,000	2,110,000	0	100.0	利息、その他
前年度繰越金	18,560,000	25,500,000	△ 6,940,000	137.4	
合 計	135,410,000	144,010,000	△ 8,600,000	106.4	

(支出の部)

科 目	平成14年度 予 算	平成15年度 予 算 案	前年度との 比 較	対比	摘 要
事 務 費	45,280,000 ^円	45,060,000 ^円	220,000 ^円	99.5 [%]	
給 与 費	32,670,000	32,540,000	130,000	99.6	事務員 5 人
福 利 厚 生 費	330,000	310,000	20,000	93.9	会務遂行中の役員等の傷害保険料を含む
通 信 費	1,900,000	2,000,000	△ 100,000	105.3	
印 刷 費	1,900,000	1,700,000	200,000	89.5	試験問題集（当年分）作成料を含む
備 品 購 入 費	1,000,000	700,000	300,000	70.0	
消 耗 品 費	400,000	390,000	10,000	97.5	
集 金 手 数 料	5,130,000	5,210,000	△ 80,000	101.6	
保守管理委託費	1,350,000	1,610,000	△ 260,000	119.3	
雑 費	600,000	600,000	0	100.0	
事 業 費	76,730,000	86,300,000	△ 9,570,000	112.5	
旅 費 交 通 費	23,040,000	31,080,000	△ 8,040,000	134.9	
総 務 関 係 費	1,870,000	6,200,000	△ 4,330,000	331.6	ホームページ維持管理費等を含む
広 報 関 係 費	21,010,000	19,910,000	1,100,000	94.8	会報年間 6 回発行
渉 外 費	8,970,000	11,360,000	△ 2,390,000	126.6	
学 術 研 修 費	10,470,000	4,160,000	6,310,000	39.7	
会 合 費	1,160,000	2,930,000	△ 1,770,000	252.6	各種委員会
交 際 費	7,230,000	7,780,000	△ 550,000	107.6	
慶 弔 費	2,210,000	2,210,000	0	100.0	
雑 費	770,000	670,000	100,000	87.0	
会 議 費	3,810,000	3,490,000	320,000	91.6	
役 員 会 費	240,000	290,000	△ 50,000	120.8	常任理事会 5 回
評議員会・総会費	3,370,000	3,000,000	370,000	89.0	
支 部 長 会 費	100,000	100,000	0	100.0	
雑 費	100,000	100,000	0	100.0	
特別会計繰入金	4,840,000	4,840,000	0	100.0	
同 窓 会 基 金	740,000	740,000	0	100.0	
血 脇 記 念 基 金	100,000	100,000	0	100.0	
名 簿 積 立 金	3,000,000	3,000,000	0	100.0	
退 職 積 立 金	1,000,000	1,000,000	0	100.0	
予 備 費	4,750,000	4,320,000	430,000	90.9	
合 計	135,410,000	144,010,000	△ 8,600,000	106.4	

第10号議案

平成15年度共済負担金について(案)

平成15年度 共済負担金現行通り 4,000円

第11号議案

平成15年度 東京歯科大学同窓会
同窓会基金収支予算(案)

(自 平成15年1月1日)
(至 平成15年12月31日)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	平成14年度 予 算	平成15年度 予 算 案	摘 要	科 目	平成14年度 予 算	平成15年度 予 算 案	摘 要
経常部より	円 740,000	円 740,000			円	円	
雑 収 入	30,000	20,000	利息,その他	次 年 度 金 繰 越	22,290,000	23,040,000	
前 年 度 金 繰 越	21,520,000	22,280,000					
合 計	22,290,000	23,040,000		合 計	22,290,000	23,040,000	

平成15年度 東京歯科大学同窓会
血脇記念基金収支予算(案)

(自 平成15年1月1日)
(至 平成15年12月31日)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	平成14年度 予 算	平成15年度 予 算 案	摘 要	科 目	平成14年度 予 算	平成15年度 予 算 案	摘 要
経常部より	円 100,000	円 100,000			円	円	
雑 収 入	10,000	10,000	利息,その他	次 年 度 金 繰 越	3,110,000	3,210,000	
前 年 度 金 繰 越	3,000,000	3,100,000					
合 計	3,110,000	3,210,000		合 計	3,110,000	3,210,000	

平成15年度 東京歯科大学同窓会
共済基金収支予算(案)

(自 平成15年1月1日)
(至 平成15年12月31日)

(収入の部)

科 目	平成14年度 予 算	平成15年度 予 算 案	摘 要
共 済 負 担 金	28,550,000	29,330,000	過年度分(平成13年度以前分) 850人 3,322,000円 過年度分(平成14年度分) 1,500人 6,000,000円 当年度分(平成15年度分) 5,000人 20,000,000円 合 計 7,350人 29,322,000円
雑 収 入	200,000	200,000	利息, その他
前年度繰越金	121,710,000	125,190,000	
合 計	150,460,000	154,720,000	

(支出の部)

科 目	平成14年度 予 算	平成15年度 予 算 案	摘 要
共 済 金	28,000,000	28,600,000	弔慰共済金 26,600,000円 200,000円×133件 罹災共済金 2,000,000円(火災, 風水害, 地震)
事 務 費	180,000	180,000	切手等
予 備 費	6,000,000	6,300,000	
給 付 準 備 金	116,280,000	119,640,000	
合 計	150,460,000	154,720,000	

平成15年度 東京歯科大学同窓会
名簿積立金収支予算(案)

(自 平成15年1月1日)
(至 平成15年12月31日)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	平成14年度 予 算	平成15年度 予 算 案	摘 要	科 目	平成14年度 予 算	平成15年度 予 算 案	摘 要
経常部より	円 3,000,000	円 3,000,000			円	円	
雑 収 入	10,000	10,000	利息,その他	次 年 度 金 繰 越	15,240,000	18,250,000	
前 年 度 金 繰 越	12,230,000	15,240,000					
合 計	15,240,000	18,250,000		合 計	15,240,000	18,250,000	

平成15年度 東京歯科大学同窓会
退職積立金収支予算(案)

(自 平成15年1月1日)
(至 平成15年12月31日)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	平成14年度 予 算	平成15年度 予 算 案	摘 要	科 目	平成14年度 予 算	平成15年度 予 算 案	摘 要
経常部より	円 1,000,000	円 1,000,000			円	円	
雑 収 入	20,000	10,000	利息,その他	次 年 度 金 繰 越	19,160,000	20,180,000	
前 年 度 金 繰 越	18,140,000	19,170,000					
合 計	19,160,000	20,180,000		合 計	19,160,000	20,180,000	

第12号議案

平成15年度 東京歯科大学同窓会
卒後研修セミナー収支予算(案)

(自 平成15年1月1日)
(至 平成15年12月31日)

(収入の部)

科 目	平成14年度 予 算	平成15年度 予 算 案	摘 要
受 講 料	7,980,000	13,650,000	臨床実技セミナー 12,150,000 総義歯 : 35,000×50人 = 1,750,000 TBI と SRP : 14,000×50人 = 700,000 MTM : 80,000×50人 = 4,000,000 FOP : 60,000×45人 = 2,700,000 ENDO : 60,000×50人 = 3,000,000 ベーシックセミナー 750,000 15,000×50人 = 750,000 卒研セミナー 750,000 15,000×50人 = 750,000
雑 収 入	20,000	20,000	利息、その他
前年度繰越金	1,700,000	5,000,000	
合 計	9,700,000	18,670,000	

(支出の部)

科 目	平成14年度 予 算	平成15年度 予 算 案	摘 要
事 業 費	8,540,000 ^円	16,970,000 ^円	
講師謝礼費	1,640,000	3,220,000	講師 2,200,000 実習講師 1,020,000
資料作成費	420,000	1,000,000	実習用資材 400,000 講演用資材 600,000
実習器材費	1,370,000	3,800,000	実習用器材 3,400,000 講演用器材 400,000
役 務 費	400,000	1,500,000	委員発表 700,000 チューター 200,000 症例発表 600,000
設 営 費	1,260,000	2,400,000	スライド関連費 250,000 運営資材費 1,300,000 演者・受講者昼食 500,000 消耗品費 350,000
印刷広報費	700,000	900,000	研修用プログラム印刷他
受講証関係費	80,000	150,000	
広 告 費	1,900,000	2,500,000	雑誌広告 1,700,000 DM 料 800,000
渉 外 費	770,000	1,500,000	講師打合せ会費 他
事 務 費	970,000	1,300,000	
通信運搬費	900,000	1,100,000	プログラム発送・セミナー案内ハガキ 他
消 耗 品 費	30,000	100,000	
雑 費	40,000	100,000	
小 計	9,510,000	18,270,000	
予 備 費	190,000	400,000	
合 計	9,700,000	18,670,000	

第13号議案 平成14年度 名誉会員推薦名簿

本会会則第22条第2項並びに同施行細則第8条第1項一号に基づき次の会員を
本会名誉会員に推薦する。

東京歯科大学名誉教授 片 桐 重 雄 氏
前東京歯科大学 オーラルメディシン講座
(平成14年3月31日退職)
平成14年4月1日 東京歯科大学名誉教授

頼れる新商品登場!!



すでに多数の先生にご利用いただいております、同窓会団体保険制度

「東京歯科大学同窓会団体所得補償保険」((社) 日本歯科医師会団体契約)

に下記の頼もしい新商品が追加されました。

1. 「がん保険 (1 年契約用)」 30%団体割引適用

2. 「医療保険 (1 年契約用)」 30%団体割引適用

※平成 15 年 1 月 1 日保険開始です。中途加入も毎月可能です。

1. がん保険の特徴

※がんは治る時代! でも治すためにはいざという時の準備が必要です。

東京海上のがん保険は初期がんでも全額補償、診断給付金は何度でも
(2 回目以降は 2 年経過後)、入院給付金は何日でも補償します。

【加入例】Aタイプ (本人型)

- ・診断給付金 100 万円、入院給付金 1 日 2 万円、重度一時金 100 万円
その他手術給付金、通院給付金、がん女性特定手術保険金などの保障がついて
42 歳【男性】月々 910 円 【女性】月々 1,130 円

※ 初年度契約は、保険始期を含めて 90 日間を経過した日の翌日から保障開始となります。

2. 医療保険の特徴

※もしも入院された場合の思わぬ負担・入院の長期化が心配です。

東京海上の医療保険は入院初日から補償がスタート。1 入院 180 日間
(通算限度なし) までお支払いします。

【加入例】Aタイプ (本人型)

- ・入院給付金 1 日 1 万円、重度入院一時金 100 万円、退院後療養保険金 10 万円
女性入院保険金 1 日 1 万円などの保障がついて
42 歳【男性】月々 3,720 円 【女性】月々 4,480 円

※詳細は、パンフレットに記載されておりますので、ご要望の先生は下記代理店までお申し付け下さい。

生きることのすべてに、関わろうと思う。

東京海上

安心、ひろげます。
東京海上

東京海上火災保険株式会社 東京都町田市中町 1-28-2 東京海上町田ビル 2F 〒194-0021

お問い合わせ先: TEL 042-723-2623

ホームページアドレス <http://www.tokiomarine.co.jp/>

同窓会指定取り扱い代理店

日本保険マネジメント株式会社

お問い合わせ専用フリーダイヤル

0120-463-175

NC VERACIA

SHOFU

生体との調和を目指して——

ナノテクノロジーと機能的形態が融合した 新人工歯

etic Polymer-Nano Com

-Nano Com

Anterior Synthetic P

posite-Teeth NC Ve

posite-Teeth NC Ve

posite-Teeth NC Ve

posite-Teeth NC Ve

Posterior Synthetic P

posite-Teeth NC Ve

posite-Teeth NC Ve

posite-Teeth NC Ve

posite-Teeth NC Ve

NC Veracia

Synthetic Polymer - Nano Composite - Teeth



硬質レジン歯 NC ベラシア

天然歯のような透明感による審美性
衝撃や摩耗に優れ、バランスのとれた物性
優れた耐変色性と耐着色性

※新開発のナノコンポジットレジン(エナメル部)と、IHP(デンティン部)は特許申請中です。

包装・価格



医療用具承認番号 21100BZZ00751

NC ベラシア アンテリア

硬質レジン歯(前歯用) 1組...¥780

色 調: A1、A2、A3、A3.5、B2

形 態: 上顎5形態、下顎3形態

健保適用品



医療用具承認番号 21200BZZ00272

NC ベラシア ポステリア

硬質レジン歯(臼歯用) 1組...¥1,040

色 調: A2、A3、A3.5、B2

形 態: 上下顎各2種

価格は2002年12月現在の標準医院価格(消費税抜き)です。



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

●本社: 〒605-0983 京都市東山区福福上高松町11・TEL(075)561-1112 代

●支社: 東京(03)3832-4366 ●営業所: 札幌(011)232-1114/ 仙台(022)299-2332/ 名古屋(052)709-7688/ 大阪(06)6252-8141/ 福岡(092)472-7595

<http://www.shofu.co.jp>

90° アイコンタクト EYE CONTACT

CP-Oneが提案するのは“90°ポジション”。
ドクターと患者さんが、まるで友人のように
自然な姿勢でコミュニケーションできるスタイルです。
視線を交わしながら、同じ画像を見ながら、
患者さんが何を望んでいるのか、
ドクターが何を説明しているのが、
お互いに伝わって、新しい信頼関係が生まれます。

シービーワン
CP-One



**90°から生まれるコミュニケーション、快適診療。
これが CP-Oneスタイルです。**



話す

90°ポジションを可能にしたCP-One。
これまでのユニットに比べドクターは一
歩大きくチェアサイドに近づけます。



治療する

ドクターテーブルが円弧状に動くアー
クデリバリーの採用で、8時から1時ま
での治療範囲に対応。またチェアは
800mmまで上昇、立位にも対応できます。



液晶モニター（オプション）



新機構アークデリバリー

シービーワン

医療用具承認番号 21200BZZ00237000

医院標準価格 **4,250,000円**（消費税別）

内部注水マイクロモーター（DA-290）ライト付タービン2本含む

アクシスパワーヘッドレスト装備

※液晶モニターは別途価格です。

※パノラマシャカステン（オプション）

タカラベルモント株式会社

機 (011) 863-2007
岡 (019) 652-9744
台 (022) 232-4480
山 (024) 925-0742
湯 (025) 268-0333

●大 宮 (048) 663-8656
●千 葉 (043) 297-3428
●東 京 (03) 3405-6877
●八王子 (0426) 56-5830
●横 浜 (045) 681-6241

●名古屋 (052) 932-6251
●金 沢 (076) 221-8412
●京 都 (075) 241-3425
●大 阪 (06) 6212-3602
●神 戸 (078) 231-6751

●岡 山 (086) 243-7633
●米 子 (0859) 34-5221
●熊 本 (096) 387-5300
●鹿 児 島 (099) 226-9481
●沖 縄 (098) 875-0772
●徳 島 (088) 652-1701

●福 岡 (092) 411-2746
●熊 本 (096) 387-5300
●鹿 児 島 (099) 226-9481
●沖 縄 (098) 875-0772

●ベルモントコミュニケーションズ（株）東京
(03) 3908-6931
●ベルモントコミュニケーションズ（株）大阪
(06) 6212-3651

ゴミも出しません。



当医院の約束です。
きれいな手で
歯を治療します。

衛生的な
環境

手を差し出すだけのノータッチ乾燥だから
とても衛生的。治療はいつも清潔な手で。

ゼロ
ゴミ
トイレ

ゴミの出ない、美しいトイレを実現。お掃除の
手間も不要。10円で300回使える経済性も魅力。

スピード
乾燥

風速90m/秒、両面ジェット風が一気に乾燥。
患者さんをお待たせしません。

新デザインで
抗菌加工を標準装備

NEW



抗菌

スリムタイプ
JT-SB116D形(100V)
JT-SB216DS形(標準200V)
希望小売価格 188,000円(税別)

上記特長はスリムタイプを中心に説明しています。

NEW



抗菌

ハイパワータイプ
JT-WB220CS2形
希望小売価格 220,000円(税別)



カウンタートップタイプ

JT-KB10A2形(100V)
希望小売価格 188,000円(税別)
JT-KC10A2形 広範囲タイプ(100V)
希望小売価格 138,000円(税別)

200V
NEW



抗菌

ミニタイプ
JT-MC110D形
100V
希望小売価格 98,000円(税別)



ビルトインタイプ

JT-BC110A形
100V
希望小売価格 198,000円(税別)



三菱ハンドドライヤー

ジェットタオル®

www.MitsubishiElectric.co.jp/jettowel

人とユニットの新しい関係



診療を受ける患者さん
診療をおこなうドクター
双方に幸福感を与えるユニット

Euphoria

ユーフォリア

ユーフォリアはデンタルユニットであるにもかかわらず、置かれる空間までもユニットに取り込み、患者さんがリラックスでき、ドクターも快適な診療をおこなえる理想的な空間を創り出します。



ユーフォリア
医療用具承認番号21300BZZ00397
¥3,386,000～

<http://www.osada-electric.co.jp>

長田電機工業株式会社
〒141-8517 東京都品川区西五反田5-17-5
TEL 03(3492)7651
FAX 03(3492)7506

※商品は改良の為、予告なしに仕様を変更することがありますので予めご了承下さい。又、ご不明な点はオサダ営業所にお問い合わせ下さい。
※表示価格は消費税抜きの価格です。消費税は別途申し受けます。

札幌 011(747)1391	千葉 043(278)6152	大阪 06(6281)1227	熊本 096(383)6770
盛岡 019(653)5464	西東京 042(524)9186	神戸 078(251)0649	鹿児島 099(256)6869
仙台 022(262)1705	東京 03(3494)2271	山陽 086(225)5689	沖縄 098(862)0683
新潟 025(265)3710	神奈川 045(441)3151	広島 082(241)7165	OSADA, INC.
宇都宮 028(638)5185	長野 0263(47)7060	高松 087(833)9565	
水戸 029(231)6771	静岡 054(252)0642	福岡 092(431)7774	
埼玉 048(652)0401	名古屋 052(932)0631	長崎 095(844)4093	

環境マネージメントシステム



長田電機工業(株) 名古屋工場

新しい素材が根管充填のスタイルを広げます。



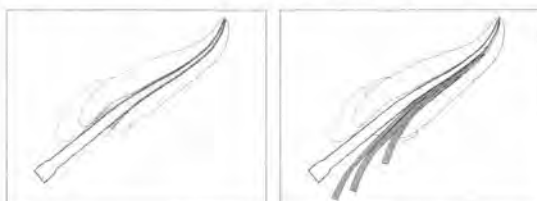
同じだけど違う

Same but Different

■ 保険診療対応。

加圧根管充填が算定頂けます。

■ マスターポイントとしてお使い頂けます。



ラテラルコンデンスの場合、アクセサリポイントはガッタパーチャ製をお使い頂きます。

余剰部分は加熱したインスツルメントでカットできます。この際、ガッタパーチャを切除するときより高めに加熱します。

※溶剤で軟化させることはできません。シーラー併用です。

※製品添付の取扱説明書をよくお読みのうえご使用下さい。

■ ポイントの除去が可能です。

根管内にエンジンリーマーを挿入すると、ポイントに沿ってリーマーが簡単に入ります。ある程度エンジンリーマーが入ったらハンドリーマーやファイルを用いて除去して下さい。

■ 簡単に切削できます。

スチールバーでもピーソリーマーでも、簡単に切削できます。

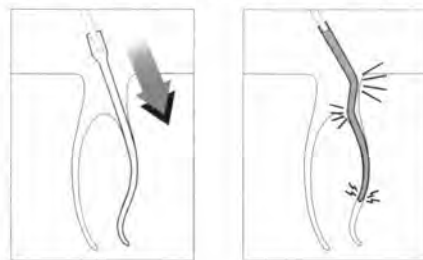
■ ISO規格(ISO6877)に準拠しています。

エックス線造影性 6.6mm

サイズ ISO 20 25 30 40 50 60 70

■ フレキシブル!

コシが強く柔軟性が高いため、細い根管への挿入が容易です。



■ オートクレープ滅菌に対応しています。

円筒容器ごとオートクレープ滅菌できます。

■ 根管長測定のX線撮影にお使い頂けます。

造影性・耐久性が高く、リーマー等に替わり安全にご使用頂けます。

■ 均質です。

機械化された射出成形により、均質でサイズ精度の高い品質を確保しています。

■ 生体親和性の高い材質です。

フレックスポイントの皮下埋入試験

兔背部の表皮下に#30のフレックスポイントとガッタパーチャポイントとを4週間埋入

<組織像>



<フレックスポイント> <ガッタパーチャポイント>

フレックスポイント「ネオ」の組織反応はガッタパーチャポイントより軽微であり、歯科材料としての組織有害性には問題ないと判断できます。

ポリプロピレン

医療材料、食品包装、衣類、家電製品などに広く使われている樹脂で、剛性、耐熱性、耐湿性、耐薬品性、耐曲げ疲労性などに優れた特性を持ちます。また、内分泌かく乱物質(環境ホルモン)を含まないプラスチックとしても知られています。

FLEXPOINT NEO

歯科用根管充填ポイント

フレックスポイント®「ネオ」

医療用具承認番号 21300BZZ00184000
日本特許 第3174944号 / 米国特許 6024569

NEW!

FLEXPOINT NEO
フレックスポイント®「ネオ」



組成 ポリプロピレン 硫酸バリウム
包装価格 単品 50本入 3,000円

セット 50本入 3,000円
#30~70各10本入り
(#20#25は入っていません)
単品包装をご利用下さい



ネオ製薬工業株式会社

〒150-0012 東京都渋谷区広尾3丁目1番3号
Tel.(03)3400-3768(代) Fax.(03)3499-0613

ネオ製薬ホームページ

最新の製品情報を掲載

<http://www.neo-dental.com/>



すべてはコミュニケーションから始まります。

患者さんと先生の6つのポジション

「治療」から「ケア」までサポートします。

患者さんの「口腔の健康」を一生見守る。そんな、患者さんの健康管理のための診療環境として、「NEW POS A&C 診療セット」は、新たなスタイルで登場しました。治療からケアまでをサポートする、患者さんが求める快適な診療ができる21世紀に向けての診療設備です。



患者導入ポジション



カウンセリングポジション



12時診療ポジション



9時診療ポジション



ブラークコントロールポジション



対面ポジション

NEW
patient oriented system
A&C
Amenity & Communication

ベシエント オリエンティッド システム 診療セット

品質マネジメントシステム 環境マネジメントシステム



ISO9001 認証
JQA-0933



ISO14001 認証
JQA-EM0543

標準価格 4,207,000円より ■医療用具承認番号 20200BZZ01453

標準価格は2002年1月21日現在のものです。標準価格には消費税等は含まれておりません。

仕様及び外観は製品改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

株式会社モリタ

本社 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 TEL:03-3834-6161
支社 大阪府吹田市豊水町3-33-18 〒564-8650 TEL:06-6380-2525

株式会社モリタ製作所

本社工場 京都市伏見区東浜南町680 〒612-8533 TEL:075-611-2141
久御山工場 京都府久世郡久御山町大字市田小字新珠城190 〒613-0022 TEL:0774-43-7594

製造 株式会社モリタ製作所

株式会社モリタ東京製作所

本社工場 埼玉県さいたま市上落合2-1-24 〒338-0001 TEL:048-852-1315
伊奈工場 埼玉県北足立郡伊奈町小室7129 〒362-0806

歯科鑄造用陶材焼付貴金属合金タイプ1

ケイアイケイ
KIK

Atlas

KIK アトラス 許可番号 11BZ0269

時の流れをこえたクオリティの高さを
上質なゴールドカラーで
審美性も抜群



- 成分：金86.5% 白金11.3% その他
- 溶融温度：液相点—1125℃ 固相点—1050℃
- 色調：黄金色
- 熱膨張係数： $14.4 \times 10^{-6} \text{K}^{-1}$ (50~500℃平均)
- 質量：10g

●物理的・機械的特性

硬さ(HV)		耐力(MPa)		伸び(%)		密度
鑄造	グレース	鑄造	グレース	鑄造	グレース	(g/cm ³)
180	220	490	570	6	7	18.8

製品名	成分				液相点 (℃)	硬さ (HV)	耐力 (MPa)	伸び (%)
	金	銀	白金	パラジウム				
KIK	85.5	0.5	4.0	8.0	1200	170	400	4
KIKハードⅡ	72.0	2.8	13.0	9.7	1290	210	420	5
KIKルミナス	75.0	2.9	10.0	10.0	1295	210	410	5
KIKゴールド	86.7	—	10.7	—	1100	140	260	10
KIKジースリー	84.5	0.4	10.8	1.0	1180	210	400	6
KIKノーブル	45.0	—	—	46.0	1280	220	450	18
KIKエイブル	40.0	19.5	—	35.0	1270	275	480	6
KIKウィング	—	—	—	81.0	1290	250	450	23

■詳細につきましては、弊社までお問い合わせください。
ホームページ：<http://www.ishifuku.co.jp>

ロンドン金市場公認溶解検定業者／(社)日本金地金流通協会正会員／(公)金銀パラジウム合金 JIS表示許可工場

石福金属興業株式会社 歯科材料販売

本社：〒101-8654 東京都千代田区内神田3丁目20番7号
TEL.03-3252-8471(直通) FAX.03-3252-8475
大阪営業所：〒550-0005 大阪市西区西本町1丁目13番36号
TEL.06-6532-1351(代)
名古屋営業所：〒450-0002 名古屋市中村区名駅5丁目22番10号
TEL.052-563-1201(代)
九州営業所：〒802-0002 北九州市小倉北区京町3丁目13番13号
TEL.093-531-9331(代)

./GC./

EOM・Σ

21世紀の快適な診療空間…イオムΣ(シグマ)が演出します。



E (Ergonomic—人間工学的な)・O (Organic—有機的な)・M (Multiform—多様な) をコンセプトに誕生したイオムは、人間工学に基づいた有機的なデザインと、変化し多様化する診療形態に対応。最新鋭デンタルユニット「イオムシリーズ」として進化を続けてまいりました。そしていま、「イオムシリーズ」はステップタイプチェアのイオムΣSS、OSを加えさらに充実。イオムは、すべてのデンタルスタッフと患者さんに、快適で効率的な診療シーンをお届けします。

DENTAL UNIT



※写真はイオムΣ SS イオムオリジナルセットです。

EOM・Σ SS SLIDING DELIVERY & STEP CHAIR

- イオムΣ SS ベーシックモデル
¥3,800,300 (取付料別)
- イオムΣ SS オリジナルセット
¥4,100,000 (取付料別)



※写真はイオムΣ OS イオムオリジナルセットです。

EOM・Σ OS OVER ARM & STEP CHAIR

- イオムΣ OS ベーシックモデル
¥3,620,300 (取付料別)
- イオムΣ OS イオムオリジナルセット
¥3,940,000 (取付料別)



※写真はイオムΣ SC イオムオリジナルセットです。

EOM・Σ SC SLIDING DELIVERY & CONTOURED CHAIR

- イオムΣ SC ベーシックモデル
¥3,680,300 (取付料別)
- イオムΣ SC イオムオリジナルセット
¥3,980,000 (取付料別)



※写真はイオムΣ OC イオムオリジナルセットです。

EOM・Σ OC OVER ARM & CONTOURED CHAIR

- イオムΣ OC ベーシックモデル
¥3,500,300 (取付料別)
- イオムΣ OC イオムオリジナルセット
¥3,820,000 (取付料別)

イオムΣSS/OS/SC/OC 医療用具承認番号 21100BZZ00693000号

※掲載の病院医院価格は、2001年8月現在のものです (価格には取付料・消費税は含まれておりません)。

株式会社 ジーシー

DIC(デンタルインフォメーションセンター) / フリーダイヤル ☎0120-416480

受付時間 9:00a.m.~5:00p.m. (土曜日、日曜日、祭日を除く)
※アフターサービスについては、最寄りの営業所へお願いします。

GC homepage URL
<http://www.gcdental.co.jp/>

歯科技工学科

高等学校卒業以上・昼間2年制

●平成15年度 入学試験日程

一般入試	
B日程	1月19日(日)
C日程	2月16日(日)
D日程	3月8日(土)

★願書受付中

■体験入学スケジュール

1 / 11(土) 9:00~12:00

2 / 1(土) 9:00~12:00

歯科技工士希望の皆様のご参加をお待ちしております

お申込みはTEL、FAX、はがき、Eメールで。

理事長
歯学博士

大塚昌助

(東歯大34年卒)

校長
歯学博士

大塚弘介

(東歯大36年卒)

顧問

東京歯科大学 学長

石川達也

歯科技工専修科

歯科技工士の資格を有する者・昼間2年制



東京歯科技工専門学校

TOKYO DENTAL COLLEGE OF TECHNOLOGY

〒141-0031 東京都品川区西五反田5-1-10 (東急目黒線不動前徒歩2分)

TEL03(3492)4221(代)

FAX03(5436)8925

URL <http://www.tdct.ac.jp>

E-mail:DQI01151@nifty.com